

学識者及び関係住民の意見

- ◆令和元年7月23日に公表した肱川水系河川整備計画【中下流圏域】
（変更原案）に対する意見とその対応 P2～
- ◆令和元年9月27日に公表した西予市野村地区における河川工事の内容を修正
した変更原案（修正）に対する意見とその対応 P110～

令和元年10月30日
国土交通省 四国地方整備局
愛媛県

令和元年7月23日に公表した「肱川水系河川整備計画【中下流圏域】（変更原案）」に対する意見とその対応

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の 推進	1	大洲市	適切なダムの流水、河道掘削、堤防かさ上げの実施を望む。
			2	大洲市	肱川水系河川整備計画全般について、目標流量の設定、整備メニュー等が妥当であることを述べたい。
			3	西予市	肱川水系河川整備計画の野村地区の整備、野村ダムの改良について提言を交えながら妥当であることを述べたい。
			4	大洲市	山鳥坂ダム建設、野村ダム改造を同時に進め肱川流域全体の治水安全度を高める必要がある。
			5	大洲市	肱川で洪水が起こらないように治水に努めることが最も重要だと考える。
			6	大洲市	肱川の治水には特効薬がないと思う。少しでも効果があると思われるあらゆる対策を推し進めてほしい。
			7	大洲市	肱川の河川整備計画を早期に変更し、早期に実施してもらいたい。
			8	西予市	河川整備計画(変更原案)102ページでは河川整備計画の対象期間は概ね30年とある、一方で、36ページでは「今後、地球温暖化に伴う気候変動による洪水リスクの増大が見込まれる。」とある。安心して暮らし、眠り、生きていける生活をこれからまだ30年間待てというのか。一刻も早い効果的な河川整備を求めたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の推進	9	-	<p>肱川流域で5年ほど生活しました。昨年の洪水被害に合われた住民の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに1日も早い再建をお祈り致します。このような洪水被害を防ぐため堤防整備、山鳥坂ダム建設、野村ダムの改造等、肱川河川整備計画（変更原案）を推進してもらいたいと思います。特に菅田地区の堤防整備は上流ダムの能力を最大限に発揮するために必要と思いますので最優先に進めてほしいと思います。</p>
			10	-	<p>地域で暮らす全ての住民の命と財産を守り、安全・安心の環境を公平に確保することが行政の責務です。</p> <p>行政として今回の肱川豪雨災害からしっかり教訓を学び、河川整備計画を早期に見直し、堤防の整備と強化、河道掘削等による流下能力の増大、ダムを活用した水量調整など、国と県が一体となってこれまで以上に肱川の河川整備に全力で取り組まれるよう強く希望します。</p> <p>長年にわたり大雨増水のたびに大きな不安を抱きながら暮らしてきた肱川流域の人たちの気持ちを思うと、安心して暮らせる日が1日も早く訪れることを願っています。</p>
			11	大洲市	<p>野村ダム、鹿野川ダムの操作規則の変更がなされた。これにより浸水被害が全て解消されるわけでは無いが、下流域では大幅に解消される。</p> <p>整備計画・緊急治水対策が早期に完成し全ての浸水被害が解消されることを強く望みます。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の 推進	12	大洲市	平成30年7月豪雨により、私の家屋も浸水し、被害を受けました。 今後地球環境の悪化を考えると、7月豪雨より大きな水害が発生するのではないかと、大変心配しております。まずは、H30.7月豪雨規模に対応して頂き（早期に！！）また、7月豪雨以上にも対応するよう、計画を進めて頂く事を強く希望します。
			13	大洲市	貯留施設の整備はその下流域全域にわたり有効であることから、山鳥坂ダムの建設を早期に完成してほしい。 平成30年豪雨への対応は、被災した地域の復興を後押しするものであり早期に完了してほしい。
			14	大洲市	肱川緊急治水対策の整備メニューを速やかに完了するよう国、県、市、一丸となって推進して欲しい。
			15	大洲市	肱川の河川整備の早期推進を
			16	大洲市	肱川緊急治水対策の整備メニューを速やかに完了するよう国、県、市、一丸となって推進して欲しい。
			17	大洲市	肱川の河川整備の早期推進を
			18	大洲市	昨年7月の豪雨災害は異常気象による大雨と、両ダムの場合当り的な異常な放流によるものでかつてない被害をもたらしました。 整備計画変更原案を着実に実施して被害を少しでも減らしてほしいと思います。
			19	大洲市	大洲に住んで14年になったが、今回の大雨による災害はとてもショックな出来事だった。 今後昨年のような災害がおこらないような整備計画の早期実現をお願いしたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の 推進	20	大洲市	ダムはいらない、河床掘削が先だとの意見もありますが、河床（砂利）を掘削しても永くこの状況が保たれるものではありません。その点6月から運用された鹿野川ダムへのトンネル洪水吐は、空き容量の確保の意味で大いに役立つと期待しています。山鳥坂ダムについても、その効果は大きく、できるだけ早く完成して頂く様要望します。
			21	大洲市	安全な肱川にしてもらいたい。住みやすい大洲にしてもらいたい。
			22	大洲市	未だダム建設等に関する批判が多いが、もっとダムの効用を公表し、早期完成を望みます。 堤防に関しても同様です。
			23	大洲市	昨年の豪雨災害では、今までに経験したこともない雨量で本当に驚き、肱川の氾濫を体感し、水の恐ろしさを改めて痛感しました。もう今後、昨年のような被害が出ないような河川整備を早急を実施して頂き、安全安心な街づくりを実現して頂きたい。
			24	大洲市	災害のない街にしてもらいたい。
			25	大洲市	肱川の河川整備の早期推進を。
			26	-	田舎ならではの風景や生物などの風景・環境保全も必要だと考えますが、山鳥坂ダムの早期完成や堤防整備については早期完成を推進しています。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の推進	27	西予市	<p>「変更原案」P102の「河川整備計画の対象期間等」には、「段階的な整備のための当面の具体的な河川整備」の「対象期間は概ね30年」とある。P12では「平成30年7月豪雨は戦後最大流量」と述べ、P36には、「今後、地球温暖化に伴う気候変動による洪水のリスクの増大が見込まれる。」とある。</p> <p>その一方で、昨年甚大な被害に見舞われた流域住民に対し、安心して暮らし、眠り、生きていける生活をまだこれから30年間も待てというのか。一刻も早く、効果的な河川整備を求めたい。</p>
			28	大洲市	<p>昨年、西日本を中心とした豪雨の影響で、大洲市も川の氾濫により冠水し、住宅に浸水するなどの甚大な被害を受けました。</p> <p>現在、国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所では、10年を目途に全ての直轄河川とその沿川市町村において、減災する為にも懸命に再構築して下さっておりますが、年々台風は強大化しており、昨年の被害を受けた住民は、台風が発生するたびに不安に駆られますので、私も被害者として、人々が更に安心して暮らせるためにも、1日でも早く進めて頂きますと幸いです。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の推進	29	大洲市	私は、長浜町山地部の住人で、西日本豪雨の時は、地元で消防団活動をしていました。活動中に野村町、肱川町、大洲市には甚大な被害が発生してました。私は山地部なので、洪水の被害はまぬがれました。現在、下流域より堤防の整備が進められています。しかし自然は待つてはくれません。今年の台風10号の時も同じことになりはしないかと心配になりました。工事の1日も早い完成を望みます。
			30	大洲市	昨年のような甚大な被害が起きぬように、より早急に整備が進むように願います。
			31	大洲市	堤防整備もダムもどんどん進めて下さい。ありとあらゆる方策で治水を進めて下さい。もう二度と水害が無いようにしてほしいです。
			32	内子町	野村ダム下流部の河道整備の早期実現を。1日も早い菅田堤防の整備を。山鳥坂ダム建設に賛成。早期完成を。下流域全域に効果のある山鳥坂ダム建設こそ最優先すべきである。
			33	大洲市	去年の水害では肱川流域で8名もの人命が奪われた。環境や利水も重要だが住民の生命・財産を守るため治水を最優先に考える必要がある。堤防整備や河道掘削、ダム建設など、あらゆる手段を用いて早急に安全・安心を確保してほしい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の推進	34	大洲市	私も被災者であるが、水害リスクを承知の上で家を建てた経緯もある。とにかく、流域住民や子供たちが安心して肱川とともに生きること、また安心して川と触れあえるよう整備してほしい。
			35	大洲市	肱川と大洲市は切っても切れない関係にあり、今後もともに生きていかなければならないものである。大洲市に住む者として安心した生活が送れるよう肱川の治水対策にはご尽力頂きたい。
			36	大洲市	整備計画を基に早期に治水対策に取り組んで、安全に住めるまちになってほしい。
			37	-	整備計画実施により、これ以上人口流出とならないよう、安全安心なまちづくりに尽力をお願いしたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-2

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	整備の進め方	38	大洲市	高い堤防を造って、河道掘削をすればより沢山の水が氾濫することなく河口へと流れる。
			39	大洲市	河道整備、築堤と市民生活再建を優先的にやって頂きたい。
			40	西予市	河川整備計画(変更原案)に河道掘削と堤防建設を優先していく事を明記することを求める。
			41	西予市	山鳥坂ダムの洪水調節能力は低く、肱川の治水への貢献度は期待できないため、河道掘削、堤防整備、内水対策に費用を向けるべきではないか。
			42	大洲市	堤防のかさ上げだけ行い、放流量だけ大きくするようにしている。その前に河床掘削を一番とし、その取り分だけは、水は流れ、掘った分、堤防の高さの代わりになるはず。放流量が増え、水かさ上がり、樋管が閉まり、内水で浸かる心配が大いにある。 まずは、河床掘削が一番でその後堤防のかさ上げではないのか。
			43	大洲市	河床の掘削により放流量を増やす事が出来ると考えます。 人は皆、平坦で生活に便利な処に住みたいものです。東大洲地区の住民が安心して暮らせる日が来るといいと思います。
44	西予市	山鳥坂ダム建設には莫大な予算が回される一方で、日常的・持続的な河川整備にはほとんど予算が付けられなかった。本来であれば、ダムの治水機能を低下させる、操作規則の「中小洪水対応」変更以後は、懸命に河川整備を進め、一刻も早く「大規模洪水対応」へと戻すべきであった。 それこそが、数日間続いた大雨にもかかわらず、「操作規則」に縛られて効果的な放流ができず、「異常洪水時防災操作」を引き起こし、私たちの故郷を濁流に沈めた最大の原因である。今回の「変更原案」には、その重大な反省を生かし、何よりも河道掘削と堤防建設を優先していくことを明記すべきである。			

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-2

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	整備の進め方	45	西予市	P102「河川整備計画の対象期間等」において他頁では平成30年7月豪雨は戦後最大流量と述べておきながら、「段階的な整備のための当面の具体的な河川整備」とし、かつ対象期間を従前の「概ね30年」としているのは、今後も容易に平成30年7月豪雨の規模以下の出水での再度被害を受ける前堤の計画に留まることを意味するものであり、水害を経験した流域住民の求めに応えているとは言い難い。

◆頂いたご意見-3

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	整備順序について	46	-	堤防かさ上げ及び河道掘削等の工事は、どこから始めるのか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	47	西予市	野村地区の昨年の7月豪雨における被害甚大化の最大の要因は、野村大橋付近の流下能力不足であると推測する。野村大橋架替を含め、野村大橋部分における問題の根本的な解決策を再度検討することを求める。
			48	西予市	野村大橋付近の河道対策について、野村ダム放流量との関連が十分に説明されていない。流下能力に関する具体的な資料を明らかにし、地域住民との検討を重ねながら、災害の防止に真に役立つ方策を盛り込んでほしい。
			49	西予市	<p>野村町横林地区の水害・浸水家屋への対応について</p> <p>野村町横林地区（大字坂石・大字予子林）の高丸集落・河成集落は、昭和30年頃の鹿野川ダム建設に伴い、当時の河川沿岸から現在の公道沿線の高台まで集落全体で移転した経緯があります。当時の用地の制約等もあり、公道のダム側の住宅では、公道とダム擁壁との高低差に応じた半地下構造となっております。</p> <p>平成30年7月の西日本豪雨においても、私の把握した範囲で住宅11戸、集会施設1戸に床上・床下浸水が生じました。また高齢者の世帯等は最寄りの避難所に一時避難をいたしました。当該集落では、過去の大雨による水害でもたびたび浸水被害を受けており、私の主観では十数年に1回程度は浸水被害が生じております。</p> <p>当地区は宇和川・黒瀬川・舟戸川が合流する肱川有数の河川流入量の多い地区でもあり、地域住民は常にダム湖面と向き合って生活しております。</p> <p>今回の変更計画、またこれまでの各種説明会においても、横林地区の水害対策に関する記述、説明がほとんどありません。当該地域の住宅の標高（水位）と鹿野川ダムの水位との関連性、ダム操作規則を含む対応策等について、ぜひ調査・検討を頂きたいと存じます。</p> <p>併せて、当該地域の状況と災害対策について、国・県・西予市等が共通認識を深めて頂きたいと存じます。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	50	西予市	築堤にすることで、水位を上げて流量を確保するのではなく、川幅を拡張する。引堤を要望します。
			51	西予市	県の施行案では不安である、川幅拡張の引堤や、特殊堤防の整備することを要望する。
			52	西予市	8月2日での県の説明では、特殊堤と掘削での施行となっているが、掘削では今後の豪雨で土砂がたまり同じ事の繰り返しになる、又川底があがり特殊堤を越すのではないかと、要望としては、川幅の拡張する引堤や、そのうえに特殊堤の2段階も考えてほしい、地元は、計画では調査、検討となっているが、同じく川幅の拡張の引堤や、特殊堤防を要望する。
			53	西予市	堀を立てる計画があったのなら早く知らせるべきではないのか。堀はどこから何メートル高くするのか。橋のたもとはどうするのか。安全第一にしっかりと出来るのか。短い距離では何の役にもたたないのでは。人の居ない所に公園ばかり作っても仕方ないのでは。人の集まる場所を作ってほしい。
54	西予市	先日8/2日、野村地区の説明会では、野村大橋を改造するという事ははっきりわかりましたが、他の野村の堤防がどのような形になるのか聞きたかったのですが、説明会に行った甲斐もなくわからずじまいでした。計画があるのなら、一部の人だけでなくすべての住民に知らせて下さい。			

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	55	西予市	<p>二度と命をおとすことのない、出て行った方々が三島町に戻ってきたくなるような河川整備をしてほしい。元の楽しい三島町にもどりたい。河底のじゃりのけを根気強くしてほしい。</p> <p>1mの築堤を作る案に対しては景色の見え方の荒瀬～大橋まで全てきれ間なくすることができるのか。橋の両端はどうなるのか。荒瀬より上はしなくても大丈夫なのか心配です。</p> <p>市民ワークショップの河川周辺の整備計画は楽しみにしています。心のケアも大切な気がします。子供たちに対しても。</p>
			56	西予市	<p>30年7月の災害では石久保橋から下流川西側150m～200m位の間が最もひどい浸水であった。およそ二十年位前、河岸美化何とかといって石久保橋から下両岸に（150m～200m）位の間には大量の石を持ってきて並べ、川幅を狭くし又浅くした。まず持って来て並べた石を取除き又川底を深く掘る。</p> <p>野村大橋から石久保橋までの川東側川岸が川に出て曲がっている。それをできうるかぎり切り崩し流れを良くし、それにともない、石久保橋下川東側川岸に何の役にも立たない草原が有る橋より下（150m～200m位公有地）その続きに雑木や竹藪などの山林がある。（私有地）この何の役にも立たない草原を取り崩して、床の滝あたりまで川幅を広げ、なお川底を深く掘り下げたら良いと思う。床の滝から下流はそのあたりの住民で考えて欲しい。</p> <p>川西側は通路より2m以上も浸水していたのだからどの位、川幅を広げ又深く掘れば対応出来るのかは、専門の人には検討はつくと思う。考えてほしい。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	57	不明	<p>引堤計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、野村大橋の上下流では左岸側が水あたり（水衝部）となっており、洪水時には左岸側の流速が速くなるとともに、水位がかなり高くなる（せきあげ）ことから右岸側に比べ被害が大きくなる。この区間の平面線形は、このような水衝部を極力つくりたくないような引堤計画にすべきである。 ・野村大橋から三島橋までの引堤については、用地買収の可否など地元状況を十分に踏まえた引堤計画とすべきである。 <p>また、引堤の計画では管理用通路の確保との関係が出てくると思う。堤防には構造令、施行規則等で、原則として幅員が3m以上で堤防の天端幅以下の管理用通路を設けるものとされているが、「管理用通路に代わるべき適当な通路がある場合」</p> <p>「堤防の全部もしくは主要な部分がコンクリートの場合」</p> <p>「堤防の高さと堤内地盤高（家や田んぼがある側）との差が0.6m未満の区間」</p> <p>などである場合においては、この限りではないと定められており、柔軟な対応をすべきである。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	58	-	<p>上流の改修工事について、特殊堤でなく引堤にすることを要望する。野村ダム建設により、肱川は人の生活から遠ざかった。特殊堤を建設すれば今以上に肱川と人との関係が遠くなる。現在、『のむら復興まちづくりデザインワークショップ』にて、住民、地元大学、行政が共同して、かつての肱川と人との関係を取り戻すには、どんな空間設備が必要か考えている。河川整備において、国や県も一緒になって、復興まちづくりについて考えてもらうことを切に願う。</p> <p>500～600mに及ぶ特殊堤は来るべき南海トラフ地震に耐え得るのか。特殊堤自体は耐震設計により影響を受けるものではないだろうが、それを支える地盤に被害を被った場合、現況とおりであれば浸水被害はないが、現在の地盤よりも水面が高い場合は、今回同様の浸水被害を招くこととなる。</p>
			59	西予市	<p>写真あり</p> <p>野村ダム建設の時、流下能力1,000m³/sで造られました。その後土砂がたまって定期的な測量もやってないと聞いています。そして住民から要望がなければ、県も河川の土砂の堆積状況を職員が見に行かないと言われました。愛媛県には河川が沢山あり、定期的にチェックはできないと。ダム建設後流下能力はだんだん悪くなってきていると思います。左の写真は今年の7月7日の放流の時です。野村ダムから三島町まで約3kmあり15分程で水が到達することから①は293m³/sの放流時の水位、②は366m³/s。当然ここに支流の分が加わりこれより少し多く放流されていると思いますが、この2つの水位からして、昨年までの流下能力の数字は信用できないものだったと思います。どうか、今後はダムの直下の測量、定期的に行ってほしいです。住民が言わなければ県が見に来ないようでは、今回の変更原案も正しい数字が出て信用できません。2度と同じことが起こらないように、安全な計画にしてください。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	60	西予市	<p>野村大橋までの計画は有るが、石久保橋を改修及び、たもとの岩石を除けないと上流をいくら良くしても役に立たない。 その流量が元になる。 大橋の右岸の流れを良くして左岸に流れがこない様にしてほしいです。 天井川にはしてほしいです。</p>
			61	西予市	<p>ダムの異常洪水防災操作の誤ちにより、野村の川沿いを、特殊堤、引堤の案は、まちがっていると思います。 今までにダムができ、昭和62年に780m³/s放流したのが最高と言われているが、被害も少なく今日（2018.7.6）までとなっております。 国交省の職員を教育して頂き、心ある放流を切に願っております。 引堤は、みなさんの人生がかかっておりますので、なるべく遠慮して頂きたい。 野村ダムの為に、これだけ野村の人が人生を狂わされまた、変更原案であります。 野村ダムを壊してください。自然な川に戻してください。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	62	西予市	野村の河川整備計画についてですが、実際にはまだ流下能力の測定ができてないとか？ まずは流下能力を測定してからダムの上操作規則の変更なり、河川整備計画を立てるものだと思うのですが、測定に取りかかるのが遅すぎではないでしょうか。水害から一年が過ぎ、被災した住民達も家を修理したり、建て直して、早くかつての生活を取り戻そうと懸命に生きているのに。区域についても、三島橋から野村大橋付近までの区間しか対象になっていませんが、野村大橋より下流の石久保、荷刺、大和田地区も町中と同じような被害にあっているのに本当に流下能力が充分にあると言えるのでしょうか？この流域もきちんと流下能力の測定をし直して下さい。本流だけでなく支流も。うちの店舗兼住宅は、隣を流れる山瀬川の氾濫と、異常洪水防災操作で肱川が氾濫、逆流した為、2m33cmの浸水被害、汚泥の量も多く被災直後はシャッターやドアも開けることもできないくらい泥が堆積してました。支流の河川整備も併せて、計画の立て直しをお願いします。
			63	不明	放流に対する、マニュアルの見直しも大事であるが、今後、最大放流量1,000m ³ /sに計画があるならば、流域面積を増やすしかない。地権者の同意が必要だが人家のない生コン下流まで引堤をし
			64	西予市	放流時のマニュアルの検証をまずして頂きたい。今後、計画最大放流量1,000m ³ /sに対して流域面積の確保はしてほしい。地権者の同意は勿論、必要です。大橋右岸側の引堤案がありますが、床の滝付近も水衝部になっており含めて検討をお願いしたい。併せて、岸の樹木の撤去と護岸工事を人家のある範囲までは延長してほしい。 2度と今回の様な被害が起こらないように最善を尽くして頂きたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	65	西予市	野村大橋辺りの工事について、これで少しは大橋近辺の流下量は確保されるかもしれませんが、野村全体の、根本的な課題が解決したとは言い切れないと思います。問題を先送りして、隅っこに追いやり、本質を見えにくくしただけの事だと思います。下流の荷刺地区、畑が谷地区、大西地区には、何の対策も示されておりません。これでは、水の到達時間が早まるだけで、この地区の方々は避難の時間が更に奪われるだけの話だと思います。もっと肱川流域全体の事を考えて欲しいです。
			66	西予市	築堤の場合、三島橋はどうなるのか？そのままでは三島橋は堰き状態となると思うので、河床掘削で対応して頂きたい。
			67	西予市	約1m規模の築堤とあるが、1mと1m50ではかなりの違いがあるし、道路から川の水位は見えなくなるのではないかとあるがその間のいくつかの橋の所はどうなるのか？高さがそのままなら橋の出入口から水が浸入してきて築堤の役割を果たさないのではないかと橋を上げるなり橋の出入口に開閉式の扉をつけるなりするのか？ 橋を上げると上り下りが大変になるがそれらをどうされるのか？また、築堤して水位が1m上昇するということはもうその時点で実際には1m浸水しているという事になるし、築堤がくずれればすぐに浸水被害に遭う、又築堤が出来、川幅を広げる工事をし、流水量が増えた事により、ダム、市民行政の安心感が増すかもしれないが、安心は油断につながりかねないという事を忘れないでもらいたい。 近代的なコンクリートのダムも私達の命と財産を守る事は出来なかった事を忘れないでもらいたい。築堤もいいがモーターボートの一隻でも用意してあるのだろうか。又あの様な事態になったとき屋根の上の人たち、取り残された人たちはどうやって助けるのか？あれだけの水害の中、ボートもなしでは残された人たちの側に近づくことさえ出来ないのだから。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	68	西予市	河川対策の案で大橋周辺と石久保下流の引堤も重要だが、野村ダム下流から大和田付近迄は、川幅を広げるべきである。同時に河床採掘も行っていけば随分安心できる。そういった対策が出来ないとなれば低い地域は浸水の心配が出てくる。そうなる背に腹は代えられないので堤防の設置もしかたないかなと思うが、ただそうした場合、支流や水路からの排水をどうするのか又、三島橋橋脚の下側の部分よりは現在の堤防の低い所の方が多少高くなっている。新たに堤防を1m上げるのであれば橋もそれ以上に上げないと意味がない。そういった細かい点を具体的に説明して欲しい。とにかく野村ダムからの放流量1000m ³ /sには最低限耐えられる河川にして欲しい。
			69	西予市	中屋敷、新町、本一、本二、本三等、町地区には家屋の下に多くの「溝」がめぐらされている、災害後目に見えてきたものだが、今後「溝」の上を利用して住居建築は可能かどうか？可能になるような方策を考えるべきだと思う。
			70	-	野村大橋の付近について、右岸川は引堤となっており、それ以外の上流側は築堤（特殊堤）となっている。これは、野村大橋が流れのボトルネックになり、そこで水位上昇が起こり、それが上流に伝播して、上流側もH. W. Lが高くなるため、流下能力1,265m ³ /s確保するには上流側を築堤しなければならなくなったという解釈でよいか。
			71	西予市	野村大橋上流の久保谷川と山瀬川の支流が、洪水時に水位がかなり上昇するので、肱川の整備計画と併せて、整備してほしい。
			72	西予市	野村地域には肱川に流れ込んでいる支流が多い、その支流の水量が肱川の水量が増えれば肱川に吸収できず逆流しています。結果、その付近が家屋浸水などの被害が多く出ている。改修計画実現後は多少緩和されるかもしれないが抜本的に河川改修計画の支流の改修計画も含め説明願いたい。特に、山瀬川の改修は早急に願いたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村地区の整備について	73	西予市	支流の深山川・山瀬川など、今回、逆流して被害を拡大した支流の対策を提言したい。
			74	-	のむら復興まちづくりデザインワークショップにて肱川（宇和川）とその周辺の整備活用について話し合っています。それらを参考にしたい。 昨年と同程度の雨量には耐えうる河川にして欲しいが、それが景観の悪い堤防設置ではなく、立ちのき地域（空き地）を活かして。親水公園。遊歩道。歩道橋。屋外スポーツ施設などを設置して欲しい。これらは大雨の時には浸ってもよい場所（河川の一部となる）とする。 …（三島橋を中心とした上下流数kmの計画）
			75	-	西予市は復興まちづくりの事業計画がある。上流側に築堤をすると、それに大きな影響を及ぼしていくと思うので、もし、下流側でなにか対策ができるのであれば、そちらを優先すべきだと思う。どうしても上流側に築堤をしなければならないのなら、住民の方々のご意向を確認すべき。
			76	-	野村町の復興計画に対して柔軟に対応する必要があるが、表4.2.5にもP116表4.2.3のように、注釈で「今後の状況の変化により必要に応じて本表に示していない場所も施行することがある。」を記載してはどうか。）
			77	-	変更原案附図-24について、今後、特殊堤を違う形等で検討することであれば、今後変更が生じる可能性があることも記載してはどうか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-5

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	小田川合流点 上流～河辺川 合流点の区間 の整備につ いて	78	大洲市	小田川合流点から鹿野川ダムの間、具体的な整備計画が示されているのは、宇和川工区のみとなっているが、山槌地区や八重栗地区も同じように浸水被害を受けており、早期に対策が示される必要があると思う。 小田川流域については、河川沿いの農地等において、遊水機能がどの程度あるのか、調査・検討を行い肱川流域全体で洪水リスクの分散を図るべきと考える。
			79	大洲市	小田川の合流点から、鹿野川ダム直下の区間、そして河辺川に至るまでの間、早急な調査に入って頂き、流下能力での検討のみならず、可能な限りの対策を前向きに検討を頂き、その区間の住民の皆様にも少しでも安心・安全が増す対策をお願いしたい。

◆頂いたご意見-6

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	小田川の整備 について	80	内子町	整備計画の変更に小田川に関する項目がない。小田川も同様の見直しを行うべきではないでしょうか。小田川も浸水被害が発生しており、また、雨の降り方によっては合流する肱川に多大な影響を与えるので今回を機に対策を検討してほしい。
			81	大洲市	ダムがない小田川についても対策を講じるべきである。（築堤、河床掘削、ポンプ車の配備など）

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-7

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	小田川流域における洪水調節施設について	82	大洲市	<p>今回の河川整備計画の見直しにより、菅田地区を始めとする他地区も堤防整備が現実化（激特事業）した。又、ダム操作ルールも見直されたことも合わせて、今後、洪水による河川氾濫が減ってくると思われるが、小田川流域からの洪水の影響には、不安が残る。（雨量が1/100を超える異常気象）</p> <p>小田川流域にも、洪水調節が出来るダムや、松山方面へ分水等の検討をお願いしたい。</p>
			83	大洲市	<p>ダムに左右されない小田川が気になる、小田川は肱川流域の31%を占め、下流への影響が懸念される割合が大きく制御不能な小田川の考え方について、何らかの記載は必要と考える。</p>
			84	大洲市	<p>肱川本川の水 flow に大きな影響を与える小田川へのダム整備の必要性の検討・考え方についても記載されるべきではないでしょうか。</p>
			85	大洲市	<p>小田川の対応について記載すべきと考える。鳥首下流への影響が大きい。ダムの放流量が多くなると樋門を閉じている時間が長くなると思われ内水対策が重要である。これについても記載すべきと考える。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-7

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	小田川流域における洪水調節施設について	86	大洲市	<p>肱川が勾配が緩く地形的にも治水が難しいことは十分承知しており、そのような中、堤防整備や河道掘削等による対策が実施されることはありがたく、今後の生活に安心をもたらすものと期待している。</p> <p>今回の変更に伴い、対策事業が行われる箇所が追加されたが、その中に小田川についての記載がないことが気になる。変更原案において「上流洪水調節施設により、全川の水位低下を図り」と記載があり、当然必要であると思うが、小田川にはダムはなく、全川の水位低下という目標観点からも影響は少なくない支流と思われるため、何らかの対策の実施、今後の検討について記載をお願いしたい。</p>
			87	大洲市	<p>多くの支流が流れ込む肱川の治水対策は、何か一つの方法で解決していくのは難しいと思います。</p> <p>雨の降り方も特定の場所に集中して雨が続くなど、変化していることから、堤防整備を早急に行うのとあわせて、ダムによる洪水調節も必要ではないでしょうか。</p> <p>難しいかもしれませんが、小田川にもダムによる洪水調節ができれば有効ではないでしょうか。</p>
			88	大洲市	<p>近年の洪水は、小田川の影響もあると思います。計画に小田川のことを含めて頂けるよう検討をお願いします。</p>
			89	大洲市	<p>堤防整備と併せダムによる水位低減は必要であり、山鳥坂ダムの早期完成は必須と考える。さらに、ダムに左右されない小田川による影響が懸念され、それらのことについて何らかの記載は要るのではないか。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-8

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	新谷・小貝地区の整備内容	90	-	説明資料P13の新谷小貝地区について、紫のその他の部分をもう少し説明してほしい。

◆頂いたご意見-9

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	支川の整備について	91	-	支流対策について、本川の水位が上昇すると、バックウォーターによって支流があふれる可能性がある。それについては、どう対策するのか。
			92	大洲市	H30洪水では、支川氾濫が沢山あったのでは無いか。支川の改修や河床掘削も整備計画に明記し早急に行うべきではないのか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-10

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	久米川の整備について	93	大洲市	<p>(西大州地区) 久米地区(西大州・阿蔵地区)は平成16年、17年、23年、30年と度重なる浸水被害を被っています。少しでも早く河川整備計画を推進し、安全・安心の地域にして頂きたい。</p> <p>今回の変更原案では、肱川本川は、暫定堤防をかさ上げし完成堤防となっていますが、久米川堤防については、計画高水位で0.8m、計画堤防高で1.1m低い計画となっています。</p> <p>計画高水を超える洪水が発生した場合、越水、破堤の危険性が久米川堤防に集中することになり甚大な被害が想定されます。</p> <p>昨年の洪水においても、西大州地区が久米川の堤防を越水して被害が拡大しています。肱川本川影響区間は同一の計画高水位で計画するべきと考えます。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-11

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の 資金的・人的見 通し	94	-	整備計画には目標があり期限もある、そして、人的資源、資金を導入することであろう。目標を高く上げると莫大な費用がかかる、今回大きな災害があり、目標を高く上げた。いろいろな意見を採用して、期間内に目標を達成し、税金で整備するわけだが、資金的、人的見通しはあるのか。
			95	-	目標を高くすれば費用がかかるわけで、予算があるからここまでやるのか、ここまでやらなければならないから予算を要求するのか、その見通しはあるのか。激特事業で5年間は予算があるが、その後はどうなのか。約30年間の資金の見通しは立っているのか。激特事業の後には予算がなく予定のポンプや内水対策ができないことでは困るが如何に。
			96	大洲市	計画も大切だが、実行できる人員の体制と予算の確保が何よりも大切。市民が共同して声を上げて社会に働きかける事が必要。
			97	大洲市	本当に、5年で県管理区間も含め堤防等の整備は完了するのか。

◆頂いたご意見-12

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	工事中の 水害対応	98	-	工事の期間は長期になると思うが、工事の途中で大きな水害が来た場合どういった対策をするのか。
			99	大洲市	今後概ね5年間で整備計画が完了すると、昨年規模の豪雨があっても、菅田地区は越水しなくなるそうだが、完了までの5年間に昨年規模の豪雨があるかもしれないと思うと、不安である。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-13

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	車両等の緊急避難スペース、代替避難道路の確保	100	大洲市	災害時における、車両等の緊急避難スペース、代替避難道路の確保をしてもらいたい。災害復旧作業にも車両は必要不可欠であるため、高台に広大な避難スペースを設けてもらいたい。緊急道路の整備は変更原案に記載されているが、ルートが1つのみとなっている。大洲道路は去年の豪雨災害の際には、宇和島方向からの一方向のみであったが、非常に活用されたと聞いている。より活用するためにも、松山方面から宇和島方面への入口も整備し、双方向からの活用ができるようになり、大洲道路も代替輸送路として十分に機能するものとする。

◆頂いたご意見-14

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	引堤・河道掘削による対応	101	大洲市	肱川の水を安全かつ安心に流すのであれば、川幅を広くするか川底の掘削しかないのではないかと考える。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-15

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	整備期間について	102	西予市	実施時期について、より完成度の高い整備をお願いするにあたり、整備期間に緊急性を求めない。
			103	大洲市	築堤・引堤・橋梁の延伸などを実施する箇所は、市民生活再建計画に先んじ、実施計画すべてに完了期日を明記すること。

◆頂いたご意見-16

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	赤橋の整備について	104	大洲市	長浜「赤橋のかさ上げ」については？実行されれば好ましい

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-17

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	整備後の河道について	105	不明	<p>今回この変更原案の改修計画で整備が終われば、今後何もしないのか？</p> <p>次の段階としては、さらに流下能力の大きい河道や堤防整備、堤内地盤高（住民が住む側の土地）のかさ上げ、野村ダムの鹿野川ダムのような改造などを行い、今後もさらなる被害軽減を目指すべきだと考えている。この観点から県としても将来的にどのような河道整備をなすべきかを考えていると思うが教えて頂きたい。</p>

◆頂いたご意見-18

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	国土改造計画	106	-	<p>今回の計画について国土交通省に農林水産省を加えた国土改造計画が必要である。</p> <p>現在の山林は杉、檜が大半で、保水力が無い。保水力のある広葉樹の植林に切替えるか間伐を促進し、混交林化を勧める。</p> <p>平水時の流量の確保と大洪水時の保水力の増大を図るため。</p>

◆頂いたご意見-19

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画の対象圏域	107	西予市	<p>P82「河川整備計画の対象圏域」において、権現橋付近から野村ダム直下までが対象域となっていないのは、河川整備の一貫性・連続性を損なうものであり、合理的ではない。今回から対象圏域に含むよう求める。同様に嵩富川合流点下流から鹿野川ダム直下までが対象域となっていないことについても、対象圏域に含めて河川整備計画を再検討・再構築するよう求める。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-20

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川整備計画について	108	大洲市	<p>行政が策定する計画は、冒頭に「①この計画を策定（変更）する目的は何か。②この計画は、何の法律に基づき、どのような位置付けにあるか。③この計画の対象期間は、いつからいつまでの何年間か。」などを明示するのが一般的であると思います。しかしながら、「肱川水系河川整備計画【中下流圏域】（変更原案）」では、冒頭それらのことが示されておらず、中盤以降の102ページに「3. 3河川整備計画の対象期間等」が示されています。</p> <p>そのため、上記①、②、③について明確に示された後、現状分析に入られた方が、読む者にとっては、理解しやすいと感じました。対応の方、よろしく願いいたします。</p>

◆頂いたご意見-21

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河道の掘削・維持管理	109	大洲市	肱川において、本川・支川全域にわたって測量を実施し、河床がどのような変動を起こしてきたか、客観的に把握しなければならない。
			110	西予市	P133には、河道内の詳細調査を「原則5年に1度実施」となっているが、レーザー測量等の手段が発達してきた今、毎年1度と大きな出水の後に測量を行い、その結果は住民にも公表すべきである。
			111	西予市	P132にある縦横断測量はレーザー測量等の手段も発達しているため、毎年出水期前後あけ及び大きな出水の後に行い、その結果は住民にも公表すべきである。P133では別の計画にもとづき樹木等の調査が5年に一度となっているが、詳細度のレベルは再検討するにせよ、毎年行うべきである。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-21

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河道の掘削・維持管理	112	西予市	野村・鹿野川ダムの新たな操作ルール住民説明会では、被害がでない放流量が提示された。しかし、その根拠となる流下能力は、野村ダムが建設された昭和57年に計測された数値だが、37年前の数値が大きく変わっているのは誰が考えても明白だ。133ページには、河道内の詳細調査を原則5年に1度実施となっている。レーザー測量等の手段が発達してきた今、毎年1回さらに大きな出水の度に測量を行い、その結果を住民に公表すべきだ。そして、それに基づいた、科学的な操作ルールを構築すべき。

◆頂いたご意見-22

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河道整備の優先実施	113	西予市	P29の「ダムによる洪水調節」には、「野村ダムの機能強化」などが盛り込まれている。洪水調節の限度を超えるような豪雨を体験した我々は、ダム操作の限界を心に刻み、ダム改造に予算を回すより、持続的効果的な河川整備計画を大切にしていくなければならないか。再考を求めたい。

◆頂いたご意見-23

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	野村ダムの改良	114	西予市	野村ダムの機能強化とあるが、ダムの洪水調節には限界があるため、持続的効果的な河川整備計画を大切にすべきではないか。再考を求めたい。
			115	西予市	ダムの改造にも反対です。これからの南海トラフも想定しなければなりません。ダムに穴を開けると言う事は、それだけ強度の面からも疑問が残ります。再考をお願いします！ 勿論。山鳥坂ダム建設も反対です。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-24

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	維持管理について	116	大洲市	<p>大洲市民として人命・財産への「安全」を守って頂く事に対する整備計画の取組に感謝し理解しております。</p> <p>河川改修事業完了後の災害を経験した地で生活していく事を考えた時に堆積土砂撤去などの時間の経過にともなう補修・維持管理は理解しているが年間を通して毎年行う必要がある堤防草刈り・排水路清掃等の維持管理の重要性における取組の明確な説明が全くなされていない事に不安を感じています。（堆積土砂撤去を含む県における明確な取組及び方針が知りたい）（国及び県とで維持管理作業内容のバラツキが無いように、県側には努力して頂きたい）</p> <p>治水対策とは、河川改修事業完了後に必要とされる維持管理等を充実させる事も含め、初めて地元住民へ「安心」が保たれるのではないかと考えます。</p>

◆頂いたご意見-25

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	河川流速計の設置	117	大洲市	河川流量が即時にわかるよう、河川流速計の設置をして頂きたい。（各支川及び肱川本流5～6ポイント）

◆頂いたご意見-26

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
1	整備全般	二線堤について	118	大洲市	平成30年7月豪雨を超える洪水が発生した場合に、東大洲地区を守る二線堤の遊水機能は必要であり、整備計画にその旨を記載してはどうか？

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-27

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	洪水調節	1	大洲市	放流量については洪水被害が出ないように調整してほしい。
			2	西予市	P92「ダムによる洪水調節」において、洪水調節容量を使い切る見込みとなったことから異状洪水時防災操作に移行した」とあるが降雨の予報や流入の状態を鑑み、容量パンクの見通しの決断を迅速に行うことについて課題認識を持つ必要がある。流入量の観測結果が正しいかどうか検証がないものの、少なくとも流入量の増加ペースが抑えられなければ、ダム洪水調節による減災効果の意味はない。洪水調節容量を使い切った段階で急激な放流操作を行うこと自体に防災上の矛盾がとわれている。
			3	大洲市	疑問点 P125 山鳥坂ダムの諸元…洪水調節容量1,400万 ³ 、どのような運用をして調節するのか？ P124 山鳥坂ダムの建設…～きめ細かな操作が可能となるよう「ゲート調節方式」を採用～とあるが「野村・鹿野川ダム」も「きめ細かに！」。
			4	大洲市	平成30年7月洪水では、鹿野川ダム、野村ダムであれだけ貯めたのだから一定の貯留効果があったと思います。その検証及び公表を行うと共に、どれだけ不足していたのかを明確に示し、野村ダム（3ダムで？）に講ずるべき対策を早急に行って欲しい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-28

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	山鳥坂ダムの建設	5	大洲市	将来的には、野村ダム、鹿野川ダム、建設途中の山鳥坂ダムの3ダムの連携した、より効果的な治水の操作規則の変更を行うことが予定されている。効果的なダムの運用により、川に流れ込む水の量は減らすことができると考える。
			6	大洲市	大洲市の安心・安全を確保するため、堤防整備や河道掘削などの治水対策はもちろん重要であるが、堤防が決壊した場合の危険性や被害を考えると、ダムによる河川水位の低減は有効である。
			7	大洲市	堤防等からの越水や溢水、堤防決壊による被害を考えると河川水位は少しでも低い方が良いのは間違いなく、ダムは必要である。
			8	-	東大洲等の暫定堤防や菅田など無堤部を、締め切るためには、築堤や河道掘削などの河道整備と併せてダムによる洪水貯留が必要である。山鳥坂ダム建設や野村ダム改造は今回締め切る遊水地の機能の一部を代替えるものとして必要だ。
			9	大洲市	肱川は河床勾配が緩く、下流域は両岸に山が迫り洪水の流れにくい地形で治水が難しい河川である。このような地形では、堤防整備や河道掘削による川の断面を確保する以外にも、上流で貯め、全川に渡り水位低減効果のあるダムは、必要不可欠であると考えている。このため、山鳥坂ダムの早期完成を望む。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-28

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	山鳥坂ダムの建設	10	大洲市	<p>今後、激特事業で堤防整備が進んでいくことは流域の安全・安心の確保・向上において大変重要で有効なものであると考えます。</p> <p>その他にも、河道掘削などにより流下能力を確保すること等が明記されており一定の評価をします。</p> <p>ただ治水安全度をより確保するためには、野村・鹿野川ダムに加え、山鳥坂ダムの早期完成に伴う、3ダムによる更なる水位低減効果を図ることも必要であると考えます。</p>
			11	大洲市	<p>肱川は、大洲盆地に洪水が集中し、川の勾配が緩く、河口は山脚が迫り洪水が吐けにくく、水害はもはや宿命となっているように思える。このような河川で洪水中の水位を下げることは重要で、ダムによる洪水調節による方策は非常に効果的だと考える。そのため、山鳥坂ダムは絶対に必要であり、早期完成を望む。</p>
			12	内子町	<p>東大洲等の暫定堤防や菅田など無堤部を堤防で締め切るためには、築堤や河道掘削などの河道整備と併せてダムによる洪水貯留が必要だと思う。山鳥坂ダムは遊水機能の一部を代替えるものとして必要だと思います。</p>
			13	大洲市	<p>ダムはダム下流の河川水位を低下させるので、小田川や矢落川等の支流の水位も低下すると思う。また、河川水位が低下すると水門などの閉鎖時間が短くなり、内水による被害も軽減すると思われるので、ダムは必要である。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-28

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	山鳥坂ダムの建設	14	大洲市	新設ダムの優先度は極めて低く、計画を凍結すべき。
			15	大洲市	山鳥坂ダム建設について再検討を要すると考える。
			16	大洲市	税金のムダづかいとなるダム建設には反対。 山鳥坂ダム建設計画は肱川の治水対策に役立たない。 肱川の治水対策は、河床の掘削と堤防整備で行うべき。河床の掘削を行わないとまた、大水害がおきる。
			17	大洲市	肱川の河川対策は河床の掘削と、堤防整備で。 山鳥坂ダムの建設は絶対反対。 税金のムダづかいで危険なダムを作るのは、やめてほしい。
			18	大洲市	山鳥坂ダム計画に付いて ダム完成後、異常気象は必ず大雨を来たします。3か所のダム一斉放流の場合、水害被害が多発し確実に推定と思います。 ダム計画は、中止の検討をして頂き、河川 及 堤防等に費用を廻すべきと思います。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-29

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	ダム操作規則について	19	大洲市	昨年の7月豪雨では、ダムの操作による人災であると主張される方もおられるが、ダムの洪水貯留により、水害の頻度は確実に減少している。その時々に合わせて適切な操作が重要である。
			20	大洲市	昨年の7月豪雨による被災は、ダムの緊急放流が原因の人災であると主張する人もいるが、野村ダム・鹿野川ダム完成前に比べると洪水被害に遭う頻度は減っている。早急な堤防等の整備と併せて、下流河川の整備状況に応じた適切なダム操作を願う。
			21	大洲市	異常洪水時防災操作を避けることを優先した、ダム操作システムの構築をお願いしたい。
			22	大洲市	平成7年7月洪水を契機に、大洲市内の企業を中心に要望し、実現した中小規模洪水に対応した野村ダム操作規則変更が結果的に野村町の大きな被害に繋がったとのことだが、度重なる中小規模洪水の被害を受けた大洲市民として、大洲市街地などの洪水の頻度は下がり、東大洲地区の発展に繋がったことは感謝している。また、今年6月には鹿野川ダムの改造事業や、東大洲堤防の一部かさ上げが実現したことで、野村ダムは大規模洪水対応の操作に改定され、鹿野川ダムへの流下量を1,150m ³ /sに引き上げられ、より、大きい洪水に対応できるようになったことは大変喜ばしい。
			23	大洲市	野村ダムの操作規則に関する批判が多いが、大洲市の被害軽減のため住民が要望して改定した規則であり、これまでも被害軽減に役立って来た事を大洲市民として声を上げる必要があると思う。
			24	西予市	5月に行われた「野村・鹿野川ダムの新たな操作ルール 住民説明会」では、「被害が出ないための放流量」が提示された。しかしその根拠となる「流下能力」は、野村ダム建設時の昭和57年に計測された数字であった。37年前の数字が大きく変わっていることは、誰が考えても明白である。それによって決められた「新たな操作ルール」が、当てにならないものであることも、同様である。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-30

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	ダムの放流状況の確認	25	大洲市	<p>ダムのライブカメラのウェブ公開を！→ダムの水位と放流の状態がわかるように</p> <p>理由：以前、意見公募の時にこのお願いをしたら、野村ダムのはケーブルテレビで見えるといったような意味合いの回答であったが、はっきりしない。せめてスマホでダムの状況を知ることが、早期避難にも役に立つし、多くの市民の気になる点でもある。</p> <p>現在、肱川沿いに数個のライブカメラが設置されてみることもできるのにダムができないのはいかなるものか。今後の市民からの不信感の払拭にも繋がるのではないのでしょうか？</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-31

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	野村ダムの改良	26	西予市	野村ダムは利水に重点をおき建設されたということだが、利水者や利水量が減少してきている。昨年のような大規模な水害が発生し、今後も急激な気象環境の変化に伴い、これ以上の豪雨が予想される。これを機に、いい加減発想を転換し、利水から治水へ重点を置くように舵を切るべきである。
			27	大洲市	昨年の洪水において、野村ダムの治水能力の低さを思い知らされました。操作規則の変更で、ある程度は補えると思いますが、根本的には鹿野川ダム同様、ダムの能力を最大限に発揮できるようダム改造が必要だと思えます。
			28	内子町	平成30年7月豪雨では、野村ダムの治水容量が不足したのは事実。野村ダムの整備について、今後調査検討とあるが野村ダムの治水容量を大きくすることは急務であり、直ちに調査検討を実施し必要な対策を実施するべきである。
			29	西予市	野村ダムの再生についてですが、南予用水のパイプを利用して、洪水の時には宇和海に水を放流してはどうですか。ダムを改造するより、簡単に早くできると思います。去年以上の雨を想定して、野村の川があふれない様に様々な対策をとって、2度と野村を泥水に浸からせないで下さい。
			30	西予市	P29に「野村ダムの洪水調節の機能強化を図る必要がある」と記述されていることについては結論ありきと言わざるを得ない。放流能力の拡大等については避難誘導體制の確立及び下流河道の整備を前提とする等、慎重な検討が必要であり、文言を削除するよう求める。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-32

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	鹿野川ダムの事前放流	31	大洲市	放流について 2日～3日前から近隣地区の雨量を把握し、気象データを参考しより安全になる様、早めの放流
			32	大洲市	ダムの放流量が $600\text{m}^3/\text{s}$ を超えると東大洲地区は浸水が始まります。大雨の時には事前放流を増やして対応してほしい。
			33	大洲市	流せる量を超えて被害が出たのだから予報から予め放流しておく以外の方法はない。 集水面積が広いから、ある程度を超えて降れば仕方ない気もする。
			34	大洲市	鹿野川ダムの事前放流については、被害想定（雨量など）をより最大に見込んで対応するべきである。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-33

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	ダムからの越流	35	大洲市	既存ダムの安全策は、あくまでも、緊急放流（異常洪水防水操作）を行わないことで、ダムの越流にまかせる。ダムが越流に耐えるよう、ダム本体とその側堤の構造を改修して、越流に耐えられないダムは、ダム自体を解体するしかない。

◆頂いたご意見-34

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	洪水調節	36	大洲市	現行の整備計画において、既設ダムの10%の集水面積しかない山鳥坂ダムが既設ダムの90%に近い洪水調節能力を持つことが出来るのか、説明をお願いしたい。

◆頂いたご意見-35

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	肱川町の安全性	37	大洲市	鹿野川ダムと山鳥坂ダムに挟まれる地区の安全性について説明がほしい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-36

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	整備の進め方	38	西予市	宇和町の水を肱川から直接明浜の海へ水門 宇和町の水はじょうごのように全て大洲に向かいます 大洲の名の通り昔から大量の水に悩まされています せめて宇和町の水だけでもと 漁業と生態系には問題点あるとおもいますが ついでに水力発電で明浜に電力で補填

◆頂いたご意見-37

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
2	上流ダム群による洪水調節	ダムの効果	39	大洲市	「水防災意識社会」では、「ダムが確実に効果を発揮し、被害を防止・軽減した」との記述がある。甚大な災害を経験した住民には到底容認できる文言ではなく、強く修正を求めたい。
			40	西予市	平成30年7月の豪雨・ダム放流により、私たちはかけがえのない多くの人命と住宅や店舗、思い出の品などを失った。ダムの異常洪水時防災操作は、住民の生き延びる希望や手段を奪う過酷なものであった。しかしながら、「変更原案」P36「水防災意識社会の再構築」には、「ダムが確実に効果を発揮し、被害を防止・軽減した。」との記述がある。甚大な災害を経験した住民には到底容認できる文言ではない。強く、修正を求めたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-38

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	内水対策	1	大洲市	<p>私は下流域の白滝地区に住んでおり、昨年7月の豪雨で床上約2mの内水による浸水被害を受けました。</p> <p>現住所に55年程住んでおりますが、ここ20年で5～6回の床上浸水を経験しており、最近徐々に危険度が増している様感じております。</p> <p>今後の治水対策として、未完成部分の堤防の整備や河道の掘削等が実施される予定となっておりますが、堤防の整備が進めば、それは下流域での水位の上昇を意味することであり、白滝地区では、滝川や田淵川等の内水により大規模な浸水被害の発生が予測されているので、ハード・ソフト面併せてその対策を至急実施してほしい。</p>
			2	大洲市	<p>堤防整備の進捗により内水氾濫被害は増大することが容易に想定出来る。同時に実施するような計画にすべきではないか。</p>
			3	大洲市	<p>樋門で締切った地域の内水排除対策について要望します。</p>
			4	大洲市	<p>肱川の堤防整備が進むことにより、出水時の堤内側の内水氾濫被害が増大することが想定できる為、同時に実施できるよう計画すべきではないか。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-38

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	内水対策	5	-	<p>肱川水系河川整備計画（変更原案）について</p> <p>自然が相手の対策を考えるのは大変困難な事と思われるが、過去の記録や自然環境の似た地域での記録を基に立てられた予測に対しての整備計画として最善ものと思われる。</p> <p>現状でも、昔は毎年、ひどい年は年に数回浸水していた地区が、7年から10年に1度の浸水に改善されている。今回はその整備での不足箇所を補っているので、浸水の頻度は格段に減少すると思う。</p> <p>本流の整備は十分と思われるが、次の段階として内水の問題を解決する計画及び対策をお願い致します。</p> <p>特に大洲地区を浸水しない場所にして経済活動の発展を促し、大洲喜多地区の過疎をくい止めて下さい。</p>
			6	内子町	<p>内水氾濫対策について、記載のない他の堤防整備を行う地区において至急、内水対策を決めて取り組んでほしい。</p>
			7	大洲市	<p>堤防は1日でも早く整備してもらいたい。ただし、ダムや堤防が完成すれば、大きくは内水問題がある。国や県は河川管理だけで内水は知りませんではいけない。</p> <p>しっかりと内水問題にもかかわり対応してほしい。また、県管理の支川の氾濫や決壊が出てくると思うので、県河川もしっかり管理してください。</p> <p>それと、川砂を取らないといつまでも氾濫は続くと思います。何か利用方法を見つけていく必要がある。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-38

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	内水対策	8	大洲市	<p>昨年の豪雨災害では白滝地区の親戚宅も浸水被害にあいました。今回の変更原案では暫定堤防が完成堤になるということで安心しております。</p> <p>ただ、白滝地区は内水被害も大きいので、整備計画に記載されている内水対策の実施をなるべく早い時期にお願いします。</p>
			9	大洲市	<p>河川の整備により、内水被害に対する対策も必要となるので、本計画と一体的に検討してほしい。</p>
			10	大洲市	<p>整備計画の見直しについては良いと思います。1日も早く完成して、安全安心のまちにして下さい。肱川の堤防整備などが終わったら、内水対策にもとりこんでください。安全安心なまちづくりには、内水対策も欠かせません。よろしくお願いします。</p>
			11	大洲市	<p>今後の堤防整備で外水に対する水の脅威は減ると思うが、内水に対する不安が残る。堤防整備だけでなく内水対策もしっかり行って頂きたい。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-38

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	内水対策	12	大洲市	洪水時の内水氾濫対策 ・支川の改修や排水機場の新設など積極的にお願いしたい。
			13	西予市	P104「内水氾濫への対応」として、あらかじめ堤防のかさ上げ等内水被害が出ることが想定されている地域においては、輪中や多重堤（二線堤等）の範囲を限定した浸水対策や、排水機場の数量検討など、必要な対策を網羅すべきである。
			14	大洲市	堤防かさ上げによる内水対策について 堤防工事が進んでくると心配になるのは内水対策である。八多喜には清永川、白滝には滝川、大和には大和川がある。洪水時にこれらの川の出水を本流の肱川へ流しきることが出来るのだろうか。 樋門を設置してポンプ排水をするにしても、相当の大型ポンプを用意する必要がある。上流の堤防工事推進により下流がますます厳しい状況になるのではないか。
			15	大洲市	樋門設置にあたり内水排除に対する考え方を、ある程度具体的に記述すべきである。特に、人家や商業施設等に影響を与える箇所においては、排水施設設備やポンプ車等の配備など目標を設定。
			16	大洲市	内水をポンプ車で万全に除去できると思えない。内水の水量を甘く見ているのではないか。
			17	大洲市	堤防完成時の主要樋門での内水位の把握はされているのか。ポンプ排水など一部箇所の対策しかない。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-38

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	内水対策	18	大洲市	東大洲地区・白滝地区だけでなく474もの支流を抱える肱川の内水対策のより広範囲的・具体的な内容等についても記載されるべきではないでしょうか。
			19	大洲市	内水対策についてP120に記載されておりますが、都谷川・滝川以外についても心配な箇所がたくさんありますので、対応をお願いします。
			20	大洲市	河川やダムを整備したとしても、平成30年7月豪雨以上の洪水が今後発生することは十分考えうるものである。その際にも壊滅的な被害が発生しないよう他にも課題が出てくるだろう。まず堤防整備だが、これについては激特事業により今後進められていくとのことから、大変ありがたく感じている。そして次に問題になってくるのは内水対策だと思う。整備計画では、東大洲地区（都谷川）と白滝地区（滝川）等において、内水対策について検討し、必要に応じて対策を実施することになっているが、この「等」とはどこの地区を示しているのだろうか？また、内水はそれぞれの地区で状況も変わり、対策も異なってくると思われる。全体的な把握と対策について記載すべきではないだろうか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-39

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	白滝地区、東大洲地区、柚木地区の内水対策	21	大洲市	東大洲地区の内水排除施設も是非整備してもらいたい。排水ポンプだけでは対策として不十分である。支川対策など総合的な内水対策を行政が一体となって行ってほしい。
			22	大洲市	私は東大洲（徳森、大洲記念病院横）に住居する者です。昨年の豪雨災害では床上180cm超の被害に遭いました。この度の整備計画変更原案については、ダムを始め河口までの行き届いた施策が見られ、たいへん心強く感じられます。ただ私事ですが、東大洲地区は、肱川本川、矢落川の洪水もさることながら、支川である都谷川・野田川が樋門の締切りによって滞留し、それによる浸水被害が問題であります。よって本川をいくら改良しても、滞留する内水を排除しなければ東大洲地区の課題解決には至りません。高速道路、病院、警察、大規模商業施設等、今や大洲市の中心地となっているこの地域が二度と昨年のような被災地にならないように切に願うばかりです。
			23	大洲市	川の水位が上がれば、市街地側の水は流れが悪くなり、内水被害が増えないでしょうか？内水対策も堤防整備とともに考えていくべきだと思います。特に東大洲は多くの商店や企業が進出し雇用の場となっていて、いわば大洲の経済の中心です。東大洲に被害が起きると大洲市は大打撃を受けます。東大洲のポンプ場の整備を早急にしてほしいです。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-39

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	白滝地区、東大洲地区、柚木地区の内水対策	24	大洲市	<p>内水対策について、もっと具体的な対策を記載すべきと思う。 特に、大洲市の商業機能が集積する東大洲の対策として「排水機場を設置する」など、明確に示してほしい。 P120に「必要に応じて」との記載があるが、既に必要性があることは明らかだと思います。</p>
			25	大洲市	<p>昨年7月豪雨災害により東大洲地区の殆どが浸水被害を受けており、東大洲の暫定堤防のかさ上げも必要ですが、都谷川と白滝（滝川）において、内水対策として早期に排水機場の新設を行っていただきたい。 肱川本川の堤防整備が進むと内水対策も必要となってくるので、国、県、市が連携して取り組んでいただきたい。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-39

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	白滝地区、東大洲地区、柚木地区の内水対策	26	大洲市	<p>私が住む白滝地区では、平成7年7月の梅雨前線豪雨により、白滝公民館から米津地区へ向かう町道沿いなどの住宅・店舗・作業所等の数軒が浸水被害を受けました。その後「河川激甚災害対策特別緊急事業」により、肱川本川の堤防整備（樋門の建設を含む）をはじめ、堤防整備に併せた県道整備、滝川・田淵川の一部改修、町道内へのボックスカルバート（1m×1m）排水路の埋設等が進められました。</p> <p>これらの整備後も、平成16、17、23、30年の洪水において、一部は肱川本川暫定堤防からの溢水があるものの、ほとんどの洪水は「田淵川」及び「滝川」沿川と「肱川本川」に囲まれた「内水被害」でした。</p> <p>本計画120ページの（3）洪水時の内水氾濫対策では、「白滝地区（滝川）」としか表示されていないため、是非とも「白滝地区（滝川、田淵川）」に修正してください。</p> <p>市道加世山崎線沿いの多くの住人は、今まで幾度か「床上浸水」に遭っており、高齢者が、後片付けに大変苦労されています。</p> <p>大和「郷」及び「上老松」地区のような宅地かさ上げの「水防災事業」は、実施できないでしょうか。既に激特事業が終了した白滝地区では困難かもしれませんが、今後、上・中流部の遊水地へ溢れ出ていた肱川本川・支川の水が、下流部へ一斉に流れてくると、ポンプ車設置による樋門内水汲み出し程度の応急措置では、到底間に合わないと感じます。可能であれば、本計画への具体策の位置付けと対策の実施をお願いいたします。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-39

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	白滝地区、東大洲地区、柚木地区の内水対策	27	-	肱川の水位が高くなったことで旧嵩富川が溢れた。柚木地区の堤防が完成したあとの内水対策は大丈夫か。

◆頂いたご意見-40

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
3	内水対策	排水ポンプ車による排水	28	大洲市	平成7年は被害がなかったが、16、17、23、30年と河川整備が進むにつれて、被害を受けてきた。(久米地区(古久米武田区)) 今後、暫定堤防を含め、堤防整備が行われるが、平成30年豪雨災害と同様の水量が流れた場合、排水ポンプ車による排水を行っていただくが、堤防を越えない限り続けてもらいたい。(途中で中断されれば、被害は変わらない。)続ける条件がポンプ施設の整備であるならば、早急に整備をお願いしたい。(排水中断により、急激に水位が上昇している。)

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	1	大洲市	変更原案において、河口から6kmの河床掘削計画はない。変更原案での目標流量は去年の洪水を受け、5,000m ³ /sから6,200m ³ /sになったため、肱川河口も6,200m ³ /sに対応しなければならないはずであり、変更原案と矛盾する。
			2	大洲市	肱川の治水対策の根幹は超過洪水対策であり、肱川河口の河床掘削をすべき。
			3	大洲市	長浜河口について、一刻も早く河床掘削を願いたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	4	大洲市	<p>7月23日、肱川水系河川整備計画変更原案が示された。肱川河口から6kmには河床掘削計画はないという驚くべきものである。それより上流については堆積著しい蛇行箇所の部分的なものであり、流下断面測量を反映した河床掘削計画とは思えない。堤防整備一辺倒の計画は洪水水位をさらに上昇させている。</p> <p>原案の河口から6kmの河床掘削拒否の聖域化は、治水上最大のガンである。平成7年洪水も平成30年洪水も肱川本流と矢落川合流点の霞堤から越流。東大洲の大規模商業地域に流れ込んだ。なぜ、越流し、流れ込んだかといえば、霞堤から下流の河川が流れなかったからである。ただちにやるべきことは河床掘削だった。しかし、行われたことは野村ダムと鹿野川ダムの操作規則の改正であった。野村ダムは500m³/s放流から300m³/sに下げた。もし、500m³/s放流のままだったら、平成30年洪水の異常洪水時操作は2時間以上遅らせることができていたという。肱川下流の河床掘削が実施されていれば、平成8年の不可解な操作規則改正（改悪）は必要なく、今回の犠牲もなかったと思われる。</p> <p>ところが、河川整備計画変更原案に犠牲に対する言及は見られない。相変わらず再び肱川最下流で洪水を堰き止め、大洲盆地を大洲湖にする計画である。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	4	大洲市	<p>私は3年前、鹿野川ダムトンネル洪水吐放流差止請求訴訟を起し、本年7月19日、控訴棄却となった。判決文の5ページ13行目に、「鹿野川ダムは、異常洪水流量を4,000m³/sと想定し、この異常洪水流量を安全に放流するために、本件トンネル洪水吐と既設クレストゲートを併せて最大で6,205m³/sの放流能力を備えており、最大放流量を超える超過洪水の事態が発生する具体的な恐れがあるとは認められない。」とするのである。鹿野川ダム改造後施設最大放流能力について洪水時最高水位89mの時、クレストゲートは4,876m³/s、新設のトンネル洪水吐1,329m³/s、併せて6,205m³/sとなる。平成30年洪水は鹿野川ダムに3,800m³/s流入、3,720m³/s放流となった。判決の定義によれば、3,800m³/sは異常洪水流量とは言わない。そして、放流量4,000m³/sであっても、鹿野川ダム全体は6205m³/sの放流能力を備え最大放流量を超える超過洪水が発生する恐れはないという。放流にともなう住民のリスクを問わない判決文に絶句した。昨年の洪水で洪水吐は操作可能だったという。操作していればどんな事態になったか。平成30年洪水では緊急放流を回避できず限界を露呈しただけだろう。さらに、ダム直下の下石丸団地の擁壁を直撃し、崩壊させることになっただろう。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	4	大洲市	<p>山鳥坂ダム建設のためにも鹿野川ダムトンネル洪水吐のためにも堤防整備のためにも河床掘削は必須である。ところが、河川整備計画策定で「河道内掘削を行わず」と挿入させ、平成13年の肱川河口12kmの河床掘削計画は葬られたのである。また、平成7年洪水では肱川河口から12kmにある矢落川合流点の霞堤を越流、大規模商業地域の東大洲地区に流入した。なぜ越流したか。下流に流れなかったからであった。翌平成8年、野村ダム、鹿野川ダムの操作規則が改正されたが、霞堤から肱川河口までの12kmの河床掘削を政治的に許されなかった。</p> <p>国交省にとって不本意な操作規則改正だったと考えられる。鹿野川ダムの一定量一定率方式は大規模洪水・中小洪水にも対応する方式にもかかわらず、大規模洪水には対応しないと付け加えざるを得なかった。その操作規則改悪の災禍は、「河道内掘削を行わず」と書き加えた河川整備計画策定直後の平成16年、17年洪水被害をもたらした。さらに、平成30年洪水では犠牲をも生んだのである。河床掘削の禁止は、洪水水位をさらに1~2m高め、操作規則改正を歪め、異常洪水時操作を2時間以上早くさせた。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	4	大洲市	<p>その犠牲は未必の故意の殺人というべき政治的災害であった。河川整備計画の変更原案に河口6kmに河床掘削はない。山鳥坂ダムは中予分水中止で目的を失い、一時中止された。しかし、●●が談じ込み復活。中予分水中止の代わりにトンネル洪水吐は自分が堤案したと●●は自ら言っている。結局、山鳥坂ダムも、トンネル洪水吐も、治水の必然的要請ではなく、政治家の執念や思い付きによるものであり、治水の理屈は後付けあることである。また、●●の背景には、地方ゼネコンオーナーの●●がいたことは一般的にも広く知られていることであり、そして、●●はアベ友である。同じ四国地方整備局の徳島県那賀川水系河川整備計画では住民参加を高く掲げ、全河川にわたって河道掘削を第一の治水対策としている。肱川と異なり、まっとうな取組が行われてきたのである。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-41

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河口部の掘削	5	大洲市	<p>雨が多い今、肱川流域の者は、みんな洪水を心配しております、まず河口の砂をとり除いて下さい。お願いします。</p> <p>中流域を流れよくして頂いたら、水は早く河口に流れて来ます。それを広い海へ、早く流せば治水に役立ちます。</p>
			6	大洲市	<p>肱川水系河川整備計画 中下流域（変更原案のポイント）</p> <p>13ページの案には肱川河口のたまった砂の除去がありません。5年後と言う事は、その間の住民は、洪水が起こっても待て、と言われてると言う事になります。流れが良くなった分河口に永くたまると言う事で、大洲地区の者は、又、洪水に合う事になります。</p> <p>是非、先に河口から除いてください。</p>
			7	大洲市	<p>肱川の流下能力を向上させるために河道の掘削は有効だと思いますが、下流地域の加世地区や惣瀬地区等の河道掘削が記載されていません。河道掘削は下流から実施するものであり、流下能力を向上させるためには、下流域の断面を確保することが必要不可欠だと思います。</p>
			8	大洲市	<p>今回の変更原案では、白滝地区より下流の河道掘削が計画されておりません。大規模洪水に対応するため、中規模洪水においても、ダム放流量が増加することにより、特に田淵地区では、肱川の水位上昇により、今以上に被害が拡大・多発するのでは、と心配です。</p> <p>田淵地区の被害軽減など、下流域の内水対策のためにも、白滝地区より下流域の河道掘削を実施し、水位低下を図っていただきたい。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	9	-	河道の掘削箇所はどのように決めたのか。
			10	-	本編のP116、表4.2.3 河道の掘削を実施する区間について問題はないと考えられる。
			11	大洲市	矢落川の暫定堤防あたりの河床掘削や浚渫 昨年、京都の桂川では氾濫防止この河川の掘削と浚渫の整備が功を奏した。もちろん全体的な河川の整備をお願いしたい。 東大洲暫定堤防近くの徳森から流れてくる都谷川と矢落川との合流地点は、水位の差が少なく少しの雨でも樋門を閉じなければならなくなり、東大洲地区の冠水に結び付きやすいので、重点的に対応して欲しいのです。
			12	-	掘削箇所に遺跡がある可能性はどうか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	13	-	河道掘削について、出水が起こったときに土砂が再堆積する。また、樹林化が進むなど、元に戻る事が想定される。どれくらいの間隔で掘削をするのか。
			14	大洲市	河道の掘削及び樹木の伐採を行い、必要な河道断面を確保することだが（P114）河砂は大水のたびにたまり、樹木は繁茂する。この原案に河道掘削及び樹木伐採を「継続」して行き、必要な河道断面を確保すると、継続することを明記して実行して頂きたい。
			15	大洲市	今回の整備計画で河道掘削について明記されている。堤防整備とあわせて溜まった土砂を撤去することは、効果的であると思われるが、土砂はいずれまた溜まる。多少溜まった程度では掘削は行わないと思うが今後どのような基準をもって掘削（管理）していくのか。具体的に記載すべきではないか？
			16	不明	河道掘削の課題として、河道掘削を実施したときは良いが、その後通常時、洪水時を問わず常に河道内には土砂堆積が進行し、河道断面積の減少や河道内樹木の繁茂などにより流下能力が阻害されるのが通常である。これらの弊害を除去し、常に河道を良好な状態に維持するための管理計画を示してほしい。
			17	西予市	河川整備計画（変更原案）70ページでは河道の維持掘削、114ページ河道の掘削とある。平成15年策定の肱川水系河川整備計画方針では、洪水を安全に流下させるための対策として、河道掘削は行わないとある。大きく矛盾するのではないか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	18	西予市	<p>平成8年、国交省は野村ダムの操作規則を、「大規模洪水対応」から「中小規模対応」に変更した。堤防建設や河道掘削が十分でない下流域の大洲で浸水被害が多発するため、放流量が制限されるというのが変更の大きな理由であった。</p> <p>「変更原案」P70には、「河道は繰り返される洪水などの作用により、経年的に状態が変化するものである。その過程で、土砂の移動や河道内の樹林化による洪水時における流下断面の阻害などが懸念される。」「維持掘削を行うなど、引き続き河道の適正な維持管理に努める必要がある。」とある。P114にも、「河道の掘削、河道内樹木の伐採を行い、必要な河道断面を確保する。」とある。</p> <p>しかし、平成8年の操作規則変更から20年以上、肱川流域の堤防建設や河道掘削は、ほとんど行われてこなかった。</p> <p>平成15年に策定された「肱川水系河川整備基本方針」には、なんと「洪水を安全に流下させるための対策として、河道内掘削は行わない」とあり、その理由の1つとして「洪水のたびに河道が元にもどる。」と記載されている。「変更原案」P70の記述に照らし、誠に奇妙な表現である。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	19	大州市	<p>先日の新聞報道で「河道掘削の時期は、激特事業完了後の2024年度以降。」という記事が掲載されました。</p> <p>また、先日の説明会では、肱川の河道掘削は、河川区域内全体ではなく「堤防整備を実施してもなお流下能力が不足する区間では、河道の掘削、河道内樹木の伐採を行う」ということでした。</p> <p>私が言うまでもなく、河川断面を大きくするには、堤防を高くするか、もしくは、河床を掘削して低くするしかなく、そのほかは、ダム等で流量を調節するなどして洪水を防いでいると思います。</p> <p>私は、約30年前、先輩職員や事業者の皆様とともに、大洲市柚木の「富士橋（沈下橋）」から長浜の「肱川河口」まで、手造りの筏を漕いで下った経験があります。沈下橋から大洲城下の可動堰までは順調に下ったのですが、その後、特に五郎駅近くの「肱川」と「矢落川」が合流する付近では、「川砂利」が非常に多く堆積し、筏の底が川砂利に支え、なかなか前に進みませんでした。</p> <p>あれから約30年経過し、「柚木」や「臥龍山荘下付近」では、鵜飼舟の底が「川砂利」に当たり、相変わらず「五郎駅付近」では、「川砂利」の堆積が川岸付近まで高く積み上がった状態となっています。長浜の「肱川河口」も土砂の堆積がひどく、花火の台船が入れず、打上げ場所を変更せざるを得なかったと聞きました。先日の説明会で、国土交通省さんは、「グリーンレーザ」を使って、河川断面を調査していることを知りました。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	19	大州市	<p>私は、純粋に「一住民」として、「一自治体職員」として、河床掘削の問題は、大変重要な問題であり、激特事業と並行して「肱川本川・支川」を全域的に（ダム湖も含めて）実施することが重要ではないかと考えています。</p> <p>説明会では、「未築堤地区の遊水地等に溢れた水が、すべて下流へ流れたとしても、計算上は、長浜・沖浦地区の市街地へ溢れ出すことは無い」といった説明でしたが、異常気象の大雨の影響などによって、万一、長浜・沖浦市街地が浸水した場合、肱川本川・支川全域の河床掘削を行っていなかったことを後悔することにならないか、私は心配しています。</p> <p>やれることはすべてやって被害が起きたのなら仕方ありませんが、やれる対策は、まだ残っていると思います。肱川内に長年堆積してきた土砂を、昭和40年頃まで動いていた「川砂利浚渫船」などを使って取り除く対策を、西日本豪雨災害を受けた「今だからこそ」計画に入れて実施する必要があると思います。</p> <p>昨年7月豪雨により、大洲市では1,000近い事業者が被災され、「グループ補助金」や「持続化補助金」、「市補助金」などを活用され、また、自力によって、何とか9割以上の事業者が事業を再開されました。再開には、設備資金・運転資金のための融資を受けられ、大きな返済を続けておられる事業者もあるのではと思います。次に大きな被災をされると、負債を抱えたまま事業を閉鎖せざるを得ず、大洲市の経済が大きく疲弊する恐れがあります。何卒、激特事業と並行した肱川本川・支川全体での河道掘削について、その位置付けと事業実施を心からお願い申し上げます。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-42

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河道の掘削・維持管理	20	喜多郡	地球温暖化は進んでおり、ソフト対策にたよるばかりでは後手後手の対応でしかない。河床掘削を推進する声はあるが、実施にあたっては環境に配慮も重要であり慎重に検討すべきである。
			21	大洲市	河床掘削の実施に当たっては、堤防漏水の誘発など、堤防への影響についても十分検討した上で実施するべきです。
			22	大洲市	河床掘削の河床高の基準決定根拠は？
			23	-	河道掘削について、川が流れる場所を拡大するのではなくて、洪水時の流下の邪魔になる箇所だけを掘削するのか。

◆頂いたご意見-43

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	土砂の有効活用	24	大洲市	河道掘削の実施に当たり、川砂利を有効活用できる方法を検討して頂きたい。
			25	大洲市	河道掘削が明記されたが、そのメリットとデメリットを流域住民にわかりやすく説明するとともに、川砂利等の利活用の検討など、費用対効果を第一に考えて欲しい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-44

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	野村地区の整備について	26	不明	河道掘削区間について（野村大橋下流） <ul style="list-style-type: none"> ・引堤計画と合わせ、どのような河道断面に掘削し、流下能力を確保しようとしているのか具体的に説明を求める。 ・野村大橋下流の左岸側では「必要な対策を講じる」とあるが、どのような対策を考えているのか具体的に示してほしい。

◆頂いたご意見-45

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
4	河道掘削	河川環境に配慮した掘削計画	27	-	1997年に河川法が改正され、基本理念の治水と利水に加えて環境の保全と利用が設定された。河川環境とはグリーンコリドーとして動物の移動経路となり、また、野生動植物の生息の場所として、生物多様性の確保にも大きな役割を果たしており、その点から、今回の掘削計画については環境配慮がよくできている。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-46

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	異常洪水時防災操作の危険性の周知	1	大洲市	ダムの持つ能力の限界と、限界を超えた場合の危険性について、記述されていない。
			2	大洲市	異常洪水時防災操作が行われることや、ダムの能力には限界がありダムでは防ぎ切れない大洪水が発生することを住民に教えて頂きたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-47

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	河川・ダム情報等の周知	3	-	資料の中でもあるように気候変動や新たな大きい水害が起きたり、工事の途中で予期せぬ問題が出てくるので、意識改革が必要だということである。行動経済学という分野では必ずしも合理的に行動するものではない。過去の経験にとらわれて、あまり自分の事のように考えない。将来の危険性の情報がはっきりと示されない場合、危険回避的な行動について危険を大きく感じて不安になる。或いはグループリズムについて、特定の小グループの有力の人が強い意見を言うと、必ずしも自分の意見とは違うけれどもそちらの意見に従ってしまう、ということがわかってきている。是非、意識改革について、以上の点をしつこいくらい考えられて取り組んでもらいたい。地震の場合も同じであるが、「説明したからわかる」ではなく、将来の行動について、可能な限り情報を具体的に繰り返し伝えてもらいたい。グループの場合でもみんなの意見を取りあわせるような形を工夫することが必要ではないであろうか。
			4	大洲市	今回、住民説明会に参加して概ね5年で昨年発生した水害に耐えられるレベルまで整備が進むという事で今まで被害に遇われた方々は一安心されるのではないかと思います。私自身も1日でも早く整備が進む事を願っております。 しかし、説明の中で今まで遊水池に溜まっていた水を河道に流すという説明であった。今後は整備された堤防等に多大なる水圧がかかるという事だと思います。近年、他県河川で堤防が決壊し被害が発生した報道をよく見ます。そうならないような対策も今回の河川整備計画でなされているとは思いますが、今まで「ダムが守ってくれるから大丈夫」といったダム神話で住民の避難行動が遅れているのも事実だと思います。 まずは、今回の河川整備計画を1日も早く完成すると共に「ダム・堤防が出来たから安全に暮らせる」と言った神話化にさせない為にも特に被害が想定される地区住民には「大水が出たら自分達は川底で暮らしているのだ!」という意識を持って頂き「自分の命は自分で守る」という啓発活動に力を入れて行く事が大切だと思います。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-47

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	河川・ダム情報等の周知	5	大洲市	現状で整備されている施設での水準以上の洪水発生可能性がある以上、施設整備を強化することだと思う。住民自身の防災意識を高める事も大切だと感じている。
			6	大洲市	ダムの放流量、降雨量、河川水位などが、一括して見ることが出来るポータルサイトを設けてほしい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-48

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	防災情報の確実な周知	7	大洲市	昨年の豪雨災害をふまえ、危険の周知について、これまでどの様な改善がなされ今後どのような改善をしていく計画なのか。
			8	大洲市	我々住民にとっては、河川情報は難しく、できるだけわかりやすく伝えてほしい。
			9	大洲市	情報伝達の面で「知っているだろう」「伝わっているだろう」から「伝わっている」「知っている」という確認が確実に実施されることを願う。
			10	大洲市	昨年の豪雨では、きちんと情報が伝わらなかったことで人的被害が起きた。 情報が避難に繋がらなかった原因は何なのかまずはきちんと検証して欲しい。その上で、今後今以上の災害も発生する可能性があることから、関係機関が連携した適切な情報伝達の仕組みをきちんと作り上げてほしい。
			11	大洲市	豪雨時の防災無線、広報車の情報が聞き取れない

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-48

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	防災情報の確実な周知	12	大洲市	<p>現状で整備されている施設での水準以上の洪水発生の可能性がある以上、施設整備を強化することだと思ふ。住民自身の防災意識を高める事も大切だと感じている。</p> <p>前年水害時は、行政からの危機喚起は弱かったと思ふし、先の台風10号の折りも、メール配信はされたが大雑把で個々の状況がわからなかったし、地区の有線放送も聞き取りづらく役に立たなかった。</p> <p>インターネット等の情報提供を考えるなら、ネット環境の悪い当地区のような所をなくす事だと思ふ。</p>
			13	大洲市	<p>防災無線は日常でも聞き取りづらく、豪雨時はサイレンもあまり聞こえないため、対策・工夫を望みます。</p>
			14	-	<p>前回の水害時には橋の流出により通信線が寸断され肱川町の全域では、増水の直前まで避難放送がされなかったと聞きました。災害時には何が発生しているか住民が分からないのでは話になりません。必ず2系統以上の連絡手段を整備しておくことが速やかで確実な避難につながります。</p>
			15	大洲市	<p>ダムで何トン放流すると、肱川の水位がどのように変化するのか、だれにでも解りやすく、根気よく説明することが重要だと思います。</p> <p>ダムの知識が有る方は、ダム放流情報を見ると、今何トンの放流量だから危ないとか判断できるのでしょうか。私の近所のお年寄りなどは、全くピンときていません。大変に難しいことだとは思いますが、住人に特にお年寄りにも解りやすい情報伝達をお願いしたいと思ふ。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-48

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	防災情報の確実な周知	16	西予市	P139「ダム」の維持管理において「3ダムは（中略）統合管理を行う」とあるが、より効果的な洪水調節のために行うのは、出水規模が限られた洪水の範囲内である必要がある。これまでのような、漫然かつ単位自治体に丸投げした避難誘導では、統合管理により行動開始等がさらに遅れる可能性がある。下流住民の生存のため、洪水調節能力の周知については、常に最小限度にとどめ、常に安全側で運用する必要がある。P147「住民等の主体的な避難等の促進」についても、主体的に避難をさせる責任をダム管理者、河川管理者が担わなければ河川の安全性は向上しないと考えられることから、記述をあらためるべきである。

◆頂いたご意見-49

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	流域自治体との連携	17	大洲市	危険の周知に関しては流域自治体との連携が必要不可欠かと思う。今現在そして今後の連携状況を聞きたい。
			18	内子町	避難情報発信にあたっては、関係機関と連携した避難に繋がる情報を発信して欲しい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-50

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	ソフト対策の推進	19	大洲市	防災教育の取組について、肱川流域の洪水等の被害の可能性のある学校で広げることにはできないか。
			20	大洲市	国・県・市は、連携して、自治会、自主防災会、企業、住民が避難する情報や訓練をもっと具体的に積極的に支援するべき。
			21	喜多郡	肱川的环境保全も大切な事ですが、第一は人命及び財産を守ることではないかと思えます。防災訓練や防災学習を繰り返しながら、変更原案を推進して頂きたい。
			22	大洲市	常日頃から防災学習、訓練を継続して行える体制が必要。
			23	大洲市	いきなり避難と言われても状況が把握しにくくて、何が危険で何処へ避難していいのか、どのようなルートで避難したらいいのか、日常から学習と訓練に積極的に取り組んでいくべきだと思えます。
			24	-	防災リテラシーを向上させるため、訓練や学習の機会も必要だと思えます。
			25	内子町	整備計画が出来ても完成までに長期間要することからすぐに安全になるわけではなく、当面は危険な状況が続きます。今後、段階的な整備状況に応じた避難のために情報発信等、ソフト対策にも積極的に取り組むべきだと思う。
			26	-	洪水の被害を低減し住み良い国土、地域にする為には、国の省庁の垣根を越えた協力と国、県と市町の連携、それに住民の自主的に行動出来る防災組織の育成によって、住民自らが行動出来る体制を確立することによってのみ達成出来ると考えます。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-50

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	ソフト対策の推進	27	大洲市	<p>地域、事業所、病院、学校、介護施設、保育所等条件が異なるところでの避難行動をきちんと計画するべき。またそれぞれでの学習と訓練も行うべきです。「肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会」での取組方針を踏まえて、関係機関等と情報共有や連携を図り、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、水防災意識社会の再構築等により、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。とあるが具体性が無い、早急な対策を講じて欲しいです。</p>
			28	内子町	<p>肱川水系の治水対策にあらゆる手法により水没地域の改善に頭が下がります。</p> <p>しかし、いくら対応をしても、今の気象変動に対しての対応には限界があります。</p> <p>私は自助・共助の重要性を認識し自分達の住んでいる地域が過去において水害にあったり、ハザードマップにより水害に合う危険性の高い地域、あるいは河川の堤防の高さを、その地域の電柱や公共施設に全国統一の標識（電柱であれば色による水位線など）を設置し、普段から自分たちの住んでいる地域の現状を住民が認識するだけでなく、旅行者や外国人にもわかりやすく表示することにより、避難の判断に役にたつのではないだろうかと考えます。有事の際、行政からの避難誘導などの連絡に対し普段から自分たちの住んでいる地域を理解する事により自主防災や消防団の誘導が今よりはスムーズになる事により、一人一人の安全につながると思います。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-51

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	自助による対応	29	大洲市	<p>山鳥坂ダム完成、堤防工事の完成まで、すくなくとも20~30年ほどかかるのではないかと。その間、甚大な水害はないかもしれないし、すぐに来るかも知れない。</p> <p>この間、やはり自分の身は自分で守るしかない。昔から、ここは水のつく所だからと言われている所にまず家を建てないことだ。人間はどんなにひどい目に遭っても同じ所に家を建てる。こうなったら自己責任というしかない。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-52

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	地区毎の水害リスクの把握	30	大洲市	<p>今後も西日本豪雨災害並みの雨量は想定しておかなくてはならない。肱川対策だけで災害対策は不可能だと思う。</p> <p>水の溜まり場所はどこかにできる。</p> <p>今回特にその場所が確定的になったのではないかと思うが、堤防が出来る毎に浸水場所が変わって行く。どこかには水が溜まるのは必然だと認識して、避けられない土地の方々に対して代替地の確保を早急にするべきだと思う。</p> <p>今回被害が多くなっているのは、過去には浸水の可能性がある場所との認識で住宅がなかったが、現在その経験が生かされずに住宅地として開発されている事である。過去からの浸水被害場所とあまり変わりはないのではないか。</p> <p>どこかの土地を犠牲にする事、ダム、堤防による治水、今後被害を最小限にするために検討して頂きたい。</p>

◆頂いたご意見-53

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
5	危機管理への対応	気象情報の精度向上	31	大洲市	気象情報の正確性の増加対策を検討してもらいたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-54

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
6	目標流量	目標流量	1	大洲市	肱川緊急治水対策と検証の場において、当面の対策の目標として方針規模を採用して行動することが重要であったはずだが、この一年間そのような問題意識はなかったように思われる。
			2	大洲市	戦後最大流量を目標流量とする考え方は、後手後手の対応でしかない。目標流量をもっと大きなものとし計画を策定すべきではないか。
			3	内子町	平成30年7月豪雨の対応は最低限であり、少しでも目標流量を上げる計画とすべきではないか。
			4	大洲市	河川整備計画の変更原案については理解できるが、目標流量が基本方針と $100\text{m}^3/\text{s}$ の差であり、最低でも基本方針である年超過確率1/100の $6,300\text{m}^3/\text{s}$ で計画すべきと考える。
			5	大洲市	河川整備計画は、上流域（野村や宇和）に大量の雨が降った場合の計画変更であり、小田川や河辺川など支流において同量の雨が降った場合の流量は加味しているのか。
			6	西予市	P102の記述にもある通り、「必要に応じて適宜計画の見直しを行う」ための機会であり、想定最大規模の災害を見据え、確率年方式に拘束することの見直しも含めた整備水準の検討が求められる。各地点での整備目標流量は、ダムにより洪水調節し低減した流量ではなく、ダム最大放流能力に対応した流量に想定することが望ましい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-55

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
6	目標流量	野村地区の目標流量と現時点の流下能力	7	不明	河道の流下能力の確認 野村町内河川改修計画案③は、野村ダムの計画最大放流量である $1,000\text{m}^3/\text{s}$ を流せる堤防（河道）計画になっているのでは？しかし、野村ダムから町内までには支川もあり、野村ダムの最大放流量に、この残留域分を加えた流量を流せる堤防（河道）計画にすべきではないか？
			8	西予市	野村ダムの流下能力について 野村ダム下流三島橋～大橋 内閣府 $900\text{m}^3/\text{s}$ 愛媛県 $1,100\text{m}^3/\text{s}$ 今回の計画 $1,300\text{m}^3/\text{s}$ 建設後 河川の整備、定期的な測量はいつどのようにされたのか。疑問です。 $1,300\text{m}^3/\text{s}$ がどのように出されたのか。詳しく具体的に説明できる計画にしてください。
			9	西予市	野村地区の流下量 $1,000\text{m}^3/\text{s}$ が安全に流れる量なのか、疑問です。去年の洪水の時の実量は調べてあるのでしょうか。
			10	-	野村大橋より下流は、正確に測量をして $1,300\text{m}^3/\text{s}$ を安全に流せる川にして欲しい。川底の掘削や護岸の拡張も考慮する。
			11	不明	野村ダム最大放流量は、あくまでダム計画の $1,000\text{m}^3/\text{s}$ であって、今回、操作規則を見直したといえども、例えば、昨年7月豪雨のように計画を超える流入量（ $1,942\text{m}^3/\text{s}$ ）があった場合は、 $1,000\text{m}^3/\text{s}$ 以上の放流量に加え、残留域からの流量もさらに増えることになり、野村町内河川改修計画案③の堤防（河道）計画では再び町内は浸水被害を受けることになる。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-56

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
6	目標流量	洪水調節	12	大洲市	3ダムの役割とその機能についても明確に示し、それぞれの流量調整可能数量を明示すべきである。とにかく流域住民にわかりやすい情報提供は必要不可欠である。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-57

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
7	堤防整備	河川整備計画の推進	1	大洲市	堤防整備で、野村地区、肱川地区、大川地区、菅田地区、暫定堤防9箇所のかさ上げを予定されているが、出来る所から早急に着手してほしい。
			2	大洲市	昨年7月豪雨災害により甚大な被害を受けた、大川地区、肱川地区における堤防整備について、早期に実施していただきたい。
			3	大洲市	まずは堤防整備 早期完成を
			4	大洲市	まずは堤防整備、早期完成を。
			5	大洲市	1日も早く流域全体の堤防完成を要望します。
			6	内子町	まずは堤防整備。早期完成を。
			7	大洲市	私の実家は、阿蔵にあり、7月豪雨で160cmほど浸水しました。母は、若宮から阿蔵に移り住んでからずっと浸水する地区であることを理解し、台風時期になると「今回は大丈夫か、どこまでつかりそうか。」などと話をします。 今回の変更原案には、阿蔵地区の暫定堤防のかさ上げに付いても記載されております。1日も早い完成を期待いたします。
			8	大洲市	再び平成30年7月豪雨が起こって浸水しないように、堤防整備を最優先に実施して欲しい。鹿野川ダム・野村ダムに異常洪水時防災操作をさせないためには、下流の堤防整備が急務、早期の堤防整備を行い、操作規則を速やかに変更することを望みます。
			9	大洲市	無堤防地区などの堤防完成までの5年間は内水被害が増大することが容易に想像できる。内水対策と堤防整備を同時に行うことが望ましいが、無堤防の解消が優先である。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-57

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
7	堤防整備	河川整備計画の推進	10 11	大洲市	堤防と一緒に内水対策を整備するのは好ましいが、無堤部の解消が優先されるべきと思います。 一方、堤防整備に可能な支川処理等の内水対策は堤防整備と併せて取り組むようきめ細かな事業推進行って欲しい。
			12	大洲市	暫定堤防を1日も早く完成堤防にしてもらいたい。
			13	大洲市	暫定堤防など残すのでは無く全ての堤防を早期に完成して欲しい。
			14	大洲市	変更原案では、菅田地区は一部で「暫定堤防」箇所が残ることとなっているため、1日も早く下流域の大洲市内のみならず、中流域の菅田地区についても完成堤防として整備を進める必要がある。
			15	大洲市	私は菅田地区に事業所を置いていましたが、平成16、17、30年に洪水被害に見舞われました。少しでも早く堤防が完成することを切望しています。 しかしながら、菅田地区・大川地区の堤防計画には、暫定堤防が計画されています。下流域のために暫定堤防を残す必要があるのであれば、下流域の支障となる部分を早急に整備し、暫定堤防をかさ上げするようにして頂きたい。 河川整備計画区間は、同じ整備基準で整備されるべきです。ある地域を守るために犠牲となる地域が、あってはならないと思います。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-58

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
7	堤防整備	整備の進め方	16	内子町	堤防整備において、下流から整備とあるが、昨年これだけ被災したのに順番をつけるのはおかしい。できる所から順次早急に堤防整備をするべきではないか。
			17	大洲市	河川法改正により、河川環境行政は、「治水→治水+利水→治水+利水+環境」に変わってきた。 新河川法（平成9年改正）に基づいた取組事例 [※] を踏まえて、築堤工事を進めてほしい。 [※] 常呂川水系 隈川、北海道・肱川水系 郷之谷川、愛媛県・遠賀川、九州「川の中」事業から「流域」連携へ（円山川流域の事例）兵庫県

◆頂いたご意見-59

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
7	堤防整備	民間残土の利用促進	18	内子町	示された河川整備計画は、昨年の豪雨災害への対応として、危険個所が網羅されており、大変評価できる。ただ、毎年公募される県の築堤材料の民間残土利用については、余り進んでいない。原因として、利用土の透水係数試験、掘削、運搬、仮置き場管理などの費用は全て民間とされていることによる。（実際の工事では、ほぼ工事間流用で進められ、費用は工事費に含まれている。）本計画の築堤工事は大規模なものになると予想されるが、1日も早い工事完成により住民の安全、安心に結びつけるためにも、民間残土の利用促進の方法を考え直す必要があると思う。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-60

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	目標流量	1	喜多郡	平成30年の豪雨災害に対応する計画では、不十分。少なくとも災害発生時の1.2倍程度の計画立案、予算獲得の目途をつける努力、工夫があるべき。「気候変動により激甚化・頻発化する洪水に対応します！」という「…変更原案のポイント！！」とまで強調されているが、言葉ではなく中身のある計画を十分練ってから説明会に臨むべき。拙速や遅滞なく行政上の計画立案・予算付けなど住民のために血の汗をかく覚悟が必要。
			2	大洲市	平成30年7月豪雨を考えると、これ以上の豪雨も起こりうるものであり、目標流量を上方修正すべきではないか。
			3	大洲市	気候変動はさけて通れない問題で、早期の計画に盛り込むことが手戻りを防ぐもので重要なポイントであります。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-60

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	目標流量	4	-	<p>意見：気候変動の将来を見据えて、肱川の流域委員会を開いてさまざまな利水、治水の両面から、これまでの計画を見直す必要がある。</p> <p>詳細：後刻追加で出すかもしれません。</p> <p>昨年末に●●を招いて、大洲と松山で開催のダムと災害問題の講演会にスタッフとして係わった。</p> <p>その時に●●が言っていたのは、地球温暖化で何もしなければ今世紀末には4℃上昇となるという話、降水量が2倍になった想定で作られているダムは日本に一つもないという。</p> <p>最近国交省でも温暖化の影響で降水量が1.1倍になる、という試算をしてこれに基づいて想定を変える方向性としている（日経記事） https://tech.nikkeibp.co.jp/atcl/nxt/column/18/00142/00515/ が、これは2℃上昇を起こすとしている2040年程度の近い将来のことのようだ。（今すぐ対策を取れるかどうかでその後の昇温幅が決まるのであるが。）</p> <p>説明の5番目のところにも紹介されてはいるが、環境省が主務官庁として「気候変動適応法」が昨年成立、公布されている。</p> <p>その中でも将来激化する洪水の想定や、もっと大事なこととしては、将来の干ばつに備える必要もあり、変化する気候の下で従来想定 of 利水の容量が無条件で得られるかどうか自体も不確実となる。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-60

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	目標流量	4	-	<p>利害関係を調整するためには、肱川の流域委員会を開いてさまざまな利水、治水の両面から、これまでの計画を見直す必要がある。適応法の中では、個別の機関が勝手に想定をするのではなく、地方自治体や各機関が協力して適応計画を作る必要が唱われている。</p> <p>今回紹介された河川整備計画はその気候変動への適応ということを踏まえては作られていない計画なので、従来の想定に基づいて作られた、$6,200\text{m}^3/\text{s}$ といった洪水となる年超過確率が1/90だ、1/100だという記述は昔の計算に基づいた数字である、もっと高い確率に変化していると注釈をするべき。(概ね説明会の時に述べた論旨です。)</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-60

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	目標流量	5	大洲市	気候変動に対応する治水計画は必須であり、今回の変更に取り込むべきである。
			6	大洲市	近年世界では気温が上昇している。世界平均で100年で0.7℃程度気温が上昇しているが、日本では1.2℃程度の上昇である。また降水量も増加しており、1時間当たり50mm以上の発生回数も増加している。今気温の上昇により、今まで雪だったものが雨に変わることも想像でき、100年に1度が、もう少し短いスパンで起こる可能性は高いと思うため、気候変動の対応するための治水計画を実施してほしい。
			7	大洲市	地球温暖化による近年の異常気象は、線状降水帯や台風の雨量は想像をはるかに超えるものとなり、あわせて海水面も潮位も上昇してきていると思われます。小田川の水量の増加などを勘案すると、今回の基本方針1/100、目標流量6,300m ³ /sより、もっと整備目標を上方修正すべきではないでしょうか。流域住民の安心、安全な暮らしが十分に確保され、二度と平成30年7月豪雨災害のような悲惨な状況を起こさない河川整備をお願いしたい。
			8	大洲市	気候変動により激甚化・頻発化する洪水に対してどうするのか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-60

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	目標流量	9	内子町	地球温暖化は進んでおり、その対応をハード対策として計画策定が必要ではないか。
			10	大洲市	異常気象を考えると、整備には限界があるため、菅田や東大洲（二線堤含む）を遊水地として残す検討や小田川上流のダム建設、野村ダム等からの放水路整備など、検証結果も記して欲しい。
			11	-	河川整備基本方針は、年超過確率1/100目標流量6,300m ³ /sとなっている。現状は良いが、気候変動で基本高水が変わると思われるので、今後河川整備基本方針を見直しする必要がある際には、目標流量の見直しに関しても検討して頂きたい。
			12	大洲市	近年の豪雨状況を見れば、基本方針の年超過確率1/200程度に設定し、小田川に関しても検討する旨を記述すべき。被害規模を考えれば、1/100は低すぎる。（全国的にみても低いのでは）段階的に、河川整備計画の見直しをお願いする（1/90→1/150→1/200）

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-61

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
8	気候変動	超過洪水に対応した対策	13	大洲市	気候変動に伴い、さらに頻発・激化することが予測される洪水に対して、生命や財産を守るためには、行政の対応だけでなく、住民も参加して社会全体で対応する必要がある。
			14	内子町	気象予測を踏まえた早めの操作や、予測を踏まえた柔軟なダム操作を実施してほしい。
			15	-	河川整備基本方針について、気候変動により基本方針を見直すことについて、全国の他の河川で見直ししている河川はあるのか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-62

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の 保全	河道内の倒 木、ゴミの 撤去	1	内子町	説明会の中で、野村ダム下流域の「ゴミ」が撤去されていないとありました。河川整備の一環として、早急に対策すべきことと考えます。予算の関係で後回しにするつもりなら、先ず、山鳥坂ダムの建設を一時凍結し、その予算を河川整備に回すくらいの知恵を絞って欲しい。それができないのなら、国土交通省の職員及び愛媛県・大洲市の河川担当の職員が業務としてあるいはボランティア活動でも肱川流域のために汗を流すべきである。
			2	大洲市	ダムの放流は仕方ないかもしれないが、放流によりゴミが長浜河口へ流されてきている。出水期前に上流のゴミをできるだけ撤去してもらいたい。

◆頂いたご意見-63

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の 保全	流量の確保	3	-	ダム湖への地下浸透により、野村ダム完成前後で平水流量が約 $1\text{m}^3/\text{s}$ 減少している。肱川の環境は、平水流量の減少によりさらに悪化すると思われる。
			4	大洲市	矢落川の水質浄化施設、併せて渇水時に必要な流量をダムから流して流量を確保も好ましい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-64

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の保全	河原の土質化	5	-	河原の状態が、従来石ころだったものが土質化している。そのため、植物が成長しやすい環境になっている。従来は、洪水で頻りに種子が流れていた。植物が発芽し、河原が保護され、堆積しやすくなっているのではないか。

◆頂いたご意見-65

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の保全	樹木の伐採	6	-	説明資料P11に可能な限り樹木を保全するとあるが、川底の環境に合わせた樹木整備をして、馴染ませる必要がある。そのことによって、川と樹木と人間との関係を作っていかなければいけない。

◆頂いたご意見-66

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の保全	土砂堆積による生態系の変化	7	大洲市	河道の掘削を行うと肱川の生態が崩れるとのことだったが、逆に土砂が堆積し、川底が浅くなったことで、ウナギ、カニ、アサリ等があまり見られなくなり、明らかに生態がかわった。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-67

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
9	河川環境の保全	景観や水質の保全	8	大洲市	なるべく良好な景観や水質を維持すること。景観や水質には最大限考慮してほしい。
			9	大洲市	堤防で覆うだけの治水対策には反対。 高くしても川底には土が溜まり、除去したり更に堤防の高さを上げても、水はどこかには流れるので、水の行き先を考える事も必要だと思う。 堤防で覆われた肱川の姿を想像してみると、私達の生活に溶け込んだ美しい風景がなくなり、「堤防のある町大洲、肱川」になってしまう。 肱川だけでなく、そこに繋がる小さな川の氾濫をおこす。美しい肱川は生活の中にあるものであり、観光資源でもある。その部分も守って行って欲しい。
			10	大洲市	砂防ダムが下がっている時期の大洲城下付近の流量がとても少ないように感じ、景観の面で気になります。今後河道掘削を進めていく際、このことについてもご配慮願います。
			11	大洲市	アオコの発生等による、水質汚染により環境破壊につながる。ダム湖に水を貯めることによる弊害と思われる。
			12	内子町	ダムは水質を悪化させるとよく言われるが、水質悪化の主要因は生活排水であり、ダムだけの問題ではない。流域住民と行政が一体となって肱川の水質問題に取り組むべきである。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-68

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
10	橋梁改築	野村大橋 (耐震対策等) について	1	西予市	野村大橋、石久保橋、三島橋、洪水でかなりダメージを受けているし、南海トラフ巨大地震が近い将来発生すると言われていているので、併せて耐震工事を要望します。
			2	西予市	野村大橋、石久保橋、三島橋等は耐震は大丈夫なのか？近い将来発生する巨大地震に対して、今回の河川改修を早くして引堤計画に合わせてつけかえてほしい。 ※何でもちょっとした小さな事でもなんでも住民に逐次開示してほしい。それによって住民側も対応を考えられるので何でも早く教えてほしい。
			3	不明	引堤により野村大橋、石久保橋、三島橋などを延伸する必要があるが、これらの橋の完成時期はかなり古いと思われ、現在全国で実施されている耐震診断は実施済みなのか？終わっているならば診断結果を説明してもらいたい。近い将来必ず発生するといわれている南海トラフ巨大地震に耐えうる構造になっていないとすれば、今回の河川改修に合わせ対応を行っておくべきである。
			4	西予市	野村大橋右岸側の引堤工事計画では、工事期間中、車両の通行はどうするのか。迂回路なのか、仮橋を作るのか。近隣の住民に早く説明を要望します。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-69

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
10	橋梁改築	富士橋の撤去について	5	-	富士橋を撤去するのは、流下能力を確保するためか。それとも、柚木地区が外水氾濫したため、築堤をするためか。

◆頂いたご意見-70

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
10	橋梁改築	三島橋について	6	-	変更原案P117の表4.2.5について、三島橋は含まれないのか。

◆頂いたご意見-71

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
10	橋梁改築	JR矢落川橋梁	7	大洲市	東大洲の暫定堤防は70cmかさ上げされたわけですが、JRの線路があるため上限を低くしていると思われます。そこで素人考えですが、線路のところだけをコンクリートのトンネルにすればどうだろうと思います。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-72

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
11	浸透対策	浸透対策の 進め方について	1	-	堤防の浸透対策について、肱川と矢落川の合流地点から下流は閉鎖型の氾濫区域が多々あり、破堤すれば急激な水位上昇が発生する可能性がある。堤防かさ上げを短期間で行い暫定堤防を解消していくという事だが、築堤部においては、通常の詳細点検及び浸透対策よりさらに一步踏み込んだ安全性を担保する必要があるのではないか。
			2	大洲市	堤防の補強対策は、何時行うのか。早急に目標を立てて堤防整備完成までに補強対策を実施して欲しい。
			3	伊予市	堤防の漏水対策の推進を、堤防の補強を強く望む。
			4	八幡浜市	暫定堤防箇所の堤防補強については、堤防かさ上げと同時施工しなければ手戻りとなるのではないのでしょうか？
			5	大洲市	堤防整備が進んでいく中で、肱南・肱北地区など整備後年数を経過した堤防の安全性のことが気になります。新規の堤防整備に併せ、老朽化した堤防の安全性も確保していただくようお願いいたします。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-72

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
11	浸透対策	浸透対策の進め方について	6	大洲市	堤防ができると、ダムの放流量が増え、今まで以上に川の水位が上がっていくと聞いています。そうすると今の堤防は安全なのでしょうか？鬼怒川のように決壊することはないのでしょうか？心配です。堤防の点検や補強はどのようにしていくのでしょうか？
			7	大洲市	堤防が整備されて、洪水による河川氾濫は激減すると思われませんが、異常気象による1/100を超える豪雨により堤防を越流したり、古い堤防からの漏水や堤防決壊が不安です。 通常の点検や維持管理はもとより、造った物が壊れないように、分厚い堤防やコンクリート造りなどの頑丈な堤防を、現代の新技術や工法により造って頂くとともに、各地区の内水対策についても、同時期に検討及び対策を講じてほしい。
			8	大洲市	激特事業により、堤防が整備されることは、大変良いことと考えますが、河川の水位がこれまでより上昇すると思われまます。昨年の災害時にも、西大洲の中島地区で古い堤防のパイピング現象が見られ決壊の恐れがありました。 中村の肱川区においても堤防からの漏水が見られ、安全性に不安を感じます。堤防の浸透対策として、詳細な点検を実施し、必要な箇所について計画的に実施することになってはいますが、具体的にどのような点検を行い、今後どのような対策を行うのか示すとともに点検結果等の公表もお願いします。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-72

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
11	浸透対策	浸透対策の進め方について	9	大洲市	暫定堤防の1日も早いかさ上げと、八多喜の清永川の改修を望みます。また、今後堤防がかさ上げされると、洪水時の水量が増え、水圧による漏水が心配されますが、現在の漏水箇所を図示し、どのような点検や対策をする計画かを示してほしい。
			10	大洲市	堤防整備により、今後全ての水が肱川本流へ流れて水位が今まで以上に増すものと思われ、そこで、古い堤防に関しては、パイピング等による決壊が起こらないか安全性に心配がある。既存堤防の対策についても、どのように点検・整備を実施していくのか、より具体的に示してほしい。

◆頂いたご意見-73

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
12	河川空間の利用	川に親しむ取組	1	-	肱川かわまちづくりに携わっており確認したい。治水として堤防整備が進む一方、かわまちづくりでは、「かわ」と「まち」を繋いで親水区間を造っていこうという取組を行っている。野村地区においても「親水区間を整備して欲しい」というような意見もある。第一としては住民の安全安心を確保する目的とした治水もある中、「まち」と「かわ」を繋ぎ、市民の方に「かわ」に親んでもらうことも計画として進んでいることを踏まえ、堤防整備とかわまちづくりについて、整合性の担保ができるのか。以前、柚木の堤防の景観について少し議論になっていた。以上、どのように考えているのか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-73

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
12	河川空間の利用	川に親しむ取組	2	-	人間と自然の関わりの深さから言うと、川が人間から一番遠くなっている。山であれば数年前「山の日」ができ「山岳博文館」もある。「海の日」もあり海の博物館もある。川の博物館は松野町に「おさかな館」があるくらいで、ほとんど川に関して検証していくものや近寄るものはなく、人間とは遠い関係となっており、近づけていない。これを解消するにはハード整備が必要であるが、人間と川の関係のプラスマイナスである。本日の話ではマイナスの要素がたくさんあるが、プラスにするためにどうすれば良いか。哲学的な整理を行い、変更原案を立てなければいけない。河川の問題、動植物の問題、「まち」の問題もあることから、海や山に負けないよう人間と川が近づける方策を細かな部分ではなくトータルでどうするかを共有するために記載してはどうか。川は「怖い恐ろしい」ではなく、いろいろな利点もあるということ共有する形で作成していただきたい。
			3	-	「川の日」はあるのか。
			4	-	川をもっと知ってもらい近づいてもらう工夫が必要ではないか。
			5	西予市	野村大橋地点の特殊堤など、堤防壁面に”絵”などを描いて、明るく・親しみのある物とする。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-73

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
12	河川空間の利用	川に親しむ取組	6	大洲市	世界大会開催が可能な自然環境を備えた国際漕艇場は日本には未だない。鹿野川ダム補助目的として、レクリエーションを付け加え、鹿野川湖漕艇場1,500mコースができればマスターズ世界大会誘致ができる。
			7	大洲市	国際ボート連盟（FISA）会友の堀和明氏は、鹿野川湖について安全が確保できれば、すぐヨーロッパのチームが合宿に訪れる。1チーム200人、1か月、練習の休みには周辺観光に赴くことになる、FISAがアドバイスしたように1,500m国際コース整備は今すぐできる。マスターズ世界大会が誘致できる。ボート・コースだけでなく、カヌー・コースもできる。奥は静水域が広がり、山に囲まれ、横風を受けない。世界大会が可能な条件を備えていることである。オリンピック会場で迷走した時、IOCは2013年世界大会の韓国の弹琴湖ではどうかと言ったことがあった。デニス・オズワルドIOC理事は前FISA会長であり、忠州市が誘致にスイスの本部を訪れた時、開口一番「日本の堀を知っているか」だった。IOCは、堀氏のことが念頭にあったのかもしれない。国際漕艇場整備が潰されなければ、鹿野川湖がオリンピック会場になっていたことは間違いない。国際漕艇場の整備は国家的要請でもあることである。
			8	大洲市	P129ダム貯水地及び周辺の整備についてですが、山鳥坂ダムについても地域のシンボルとなるよう周辺の整備や河川利用を検討していただきたいと思います。（最初が大事だと思います） 余談ですが、八ツ場ダムが完成したとニュースで見ました。先進ダムの見学などを地元の人を対象に検討してもらいたいと思います。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-74

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
12	河川空間の利用	自転車専用レーンの整備	9	-	自転車専用レーンを整備しようとしている中で堤防整備と対立するところはないのか。

◆頂いたご意見-75

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
12	河川空間の利用	親水行事箇所の整備	10	-	如法寺地区は河原が広く「いもたき」等で親しまれている「親水」箇所であるが、アクセス道について、現在も利用されているため撤去はやむを得ないということか。
			11	大洲市	今回の整備計画の変更によって、水天宮花火など、川と地域の人が親しむ行事がなくなることがないようにしてほしい。

◆頂いたご意見-76

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
14	流域の概要	地表地質図の更新	1	-	変更原案P5の地表地質図について、昭和46年のものであり、最新では「産業技術総合研究所」のものがあるため、本文と地表地質図で不一致となっている。整合させるため、更新されてはどうか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-77

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
14	流域の概要	市町村合併を考慮した産業比率	2	-	変更原案P8の土地利用及び産業について、流域内でみると、砥部町は合併前の広田村であり、伊予市についても旧中山町のため、重信川流域が入ったようになっている。産業比率に違和感を感じるため検討頂きたい。

◆頂いたご意見-78

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	学識者会議への参加	1	大洲市	肱川流域学識者会議でなく、被災地元の市民を含む、新しい肱川流域委員会を組織し、年1回の定期開催し、本計画の進捗状況を管理し、今後の肱川のあり方を継続して検討すること。

◆頂いたご意見-79

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	住民説明会について	2	-	膨大な資料を当日渡され説明を受けたが検討を短時間では無理である。説明会のあり方には一考が必要である。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-80

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	洪水被害の検証とそれに対応する対策	3	大洲市	人的被害、被害発生 of 解明に関して、人命を守るのが、治水の最初で最低の目標のはずであり、新計画にこの2点を記述すべき。命が奪われたことの検証とそれに対応する対策を踏まえなければ河川整備計画(変更原案)にはならないのではないか。

◆頂いたご意見-81

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	県管理区間の直轄化	4	大洲市	<p>野村ダムや鹿野川ダムの日常管理を国の職員がやることには問題がないだろう。しかし下流域の住民に被害が出るかもしれない緊急放流という究極の判断のときには、責任を負うべきものが決定をすべきである。野村ダムや鹿野川ダム、そして住民から遠すぎる愛媛県でもない。県よりも住民に近い国こそが責任を持ち、そして決定権を持つべきである。</p> <p>いずれにせよ、緊急放流・大規模放流の権限・責任者と、住民周知の責任者が直接顔を合わせ、緊急放流・大規模放流の意思決定を行う。ここで住民周知を行う際の課題があればその議論がなされるだろう。</p> <p>このような災害対策本部をきっちりと開催することで、住民周知が市町村を通じ徹底されることになる。</p> <p>強いては長浜から鹿野川、野村まで直轄管理することが肱川の将来の最善の策である。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-82

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	文言の統一	5	-	変更原案の随所（主に図面）に「施行」と見受けられるが、これは「施工」と改めるべきではないか。

◆頂いたご意見-83

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	文言の適正化	6	-	法律を実施する場合は施行。工事を実施する場合は施工。この場合どちらが正しいのか。

◆頂いたご意見-84

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	地区名の適正化	7	-	P14の左下写真の久米川浸水状況は、右下の東大洲地区に合らし西大洲地区としてはどうか。

◆頂いたご意見-85

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	写真の更新	8	-	P138に歴史的遺構の図があるが、その中の写真の大洲城が改築中のテントで覆われているため、更新してはどうか。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-86

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	変更原案とは無関係	9	大洲市	下石丸団地は鹿野川ダムのトンネル洪水吐の吐口の真正面に擁壁があり、危険なので、移転すべき。吐口の減勢工の壁が「へ」の字に曲げられているのは、基本設計ミスの補正ではないのか。鹿野川ダム改造事業は、他の長安口ダム改造事業、鶴田ダム再開発事業のように複数大学工学系教授による審議と基本設計の了承という手続きが一切行われず、一般建築でいえば、建築確認もないまま着工したようなものである。
			10	大洲市	昨日午前4時頃にダム放流のサイレンが鳴った。わずか200m ³ /sの放流量である。そこまでの緊急性があったのか、操作規則に疑問を感じる。

◆頂いたご意見-87

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	被害に対する補償	11	-	野村町民はダムからの恩恵をほとんど受けていない。被害を受けるのみである。被害を受けた者は小は数十万円から大は数億円となるが、国、県、市等の援助は大差がない。 公的な援助、補償が無理であれば、せめて利水権者から保険料を徴収して、損害額に応じた補償を検討されたい。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-88

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	河川名の 適正化	12	西予市	<p>河川名の表記について</p> <p>原案では、野村町惣川地区から横林地区で肱川に合流する間の河川名が全て「船戸川」となっています。旧野村町全図及び現西予市全図では「舟戸川」となっております。</p> <p>平成18年11月に山鳥坂ダム工事事務所が発行した山鳥坂ダム工事事務所管内図では、全体の図面では「舟戸川」、右下の枠内の流域図では「船戸川」と表記が異なります。</p> <p>なお、惣川地区の「船渡の森三島神社」とか、横林地区の「船戸橋」など、文字のことなる地名等も見られますが、私の主観では「舟戸川」が正しいと考えております。</p> <p>また、今後のためにもどちらかに整理・統合する方が適切と考えますので、調査・検討を頂きますようお願いいたします。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-89

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	住民への説明	13	大洲市	<p>昨年の7月8日の西日本豪雨により、肱川流域は、甚大な被害を受けました。少しでも早く対策を検討し着手（工事）して欲しいと思っておりました。</p> <p>そのうち三善、八多喜等の堤防、1段敷に黒い土のうが積まれました。これは何のためか分からず無駄では無いかと思っていましたが、その後の状況を見ると、色々なことを考慮されて処理されているのだと分かり（少しでも早く着手しようとする）国の取組に、自分なりに理解ができて来ましたが、住民へのその都度の説明も必要と思います。</p>

◆頂いたご意見-90

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	仮置土	14	大洲市	出水時に堤外高水敷等に土砂などが仮置きされている。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-91

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	ダム操作規則について	15	西予市	<p>昨年の8月9日、野村中学校体育館で行われた最初の説明会に於いて、自分が調べた範囲でも、ザっと見積もって12の質問内容の回答が、「それについては、検証の場で」という形で先送りにされています。12の質問内容は、以下の通りです。</p> <p>①宇和から海の方に向けトンネルを抜き、宇和からの水をカットする方法について</p> <p>②ミカン農家に送る水を一旦止めて、海水を真水にする方法を探る事について</p> <p>③ダムの放流量について</p> <p>④平成8年に大規模洪水対策から中小規模洪水対策へと切り替わったが、その事に対する弊害について</p> <p>⑤これまでに経験した事のない記録的豪雨に対しての検証</p> <p>⑥最新の気象予報の精度が、本当に今回の豪雨に対して通じなかったのか？という疑問について</p> <p>⑦避難に対して、「伝え方に様々な課題があった」と説明会の場で言及した事について</p> <p>⑧ダムの効果的な操作について</p> <p>⑨かつて宇和が「伊達藩の米蔵」と呼ばれていた頃より、昔はよく浸水していたが、現在は浸水被害は殆どない。その水が野村に全部押し寄せる事について、歴史的、にダム職員の皆さんは勉強していたのか？という事について</p> <p>⑩ミカン農家の人口減少、具体的な数字について</p> <p>⑪山林の保水力の問題について</p> <p>⑫野村で、何故5名の死者を出すまでに至る大災害となったのか？</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-91

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	ダム操作規則について	16	西予市	<p>これらの質問に対して、自分が議事録を読み込んで回答らしきものが見つかったのは、③、④、⑤、⑦、⑧のみ。後は、議題にすら登っていません。全くのスルーだと思います。これで本当に「住民の意見を聞いた」と言えるのか？甚だ疑問が残ります。特に①⑫の、「宇和から海の方に向けトンネルを抜き、宇和からの水をカットする方法について」「野村で、何故5名の死者を出すまでに至る大災害となったのか？」は、真剣に議論すべき課題だと考えております。</p> <p>今回の災害でお亡くなりになられた方々が、どういった経緯でお亡くなりになられたのか？この検証が一番のはずなのに、その部分が、前に行われた検証の場では置き去りにされている感じがします。人命を守る事が、治水の最大の目的であり目標でもあるはずです。新計画は、この点を明記すべきだと思います。</p> <p>出来れば、検証の場から、議論をやり直して欲しいくらいです。</p>

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-92

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	河道の掘削・維持管理	17	西予市	P131「河川維持管理計画」の策定と実施に沿岸住民が参加して、流水断面の確保や河川や河川環境の維持について意見交換を行うべきである。

◆頂いたご意見-93

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	砂利採取	18	大洲市	河床にたまっている砂利の原因は砂利採取を規制したからである。民間業者等に有料で採取させるべきである。

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-94

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	昭和18年洪水について	19	-	昭和18年7月24日（前後4日間）の大洪水、野村で906mmは今回の600mm未満の1.5倍の降雨量であったが、野村大橋より2mは下であった。当時山林は戦時伐採で丸裸であったにもかかわらずである。又、同年7月13日前後日間程度の降雨で被害を受けているが今回よりは少ない。当時は国がダム役割をしており、道路、河岸、溝もコンクリート化されておらず土にしみこむため、雨水が徐々に川に溢れていたためでもある。「水を治める者は国を治める」故事を大切に！！

◆頂いたご意見-95

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	洪水調整能力と雨量の関係	20	大洲市	表「洪水調整能力と雨量の関係」

1. 学識者及び関係住民の意見

◆頂いたご意見-96

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
15	その他	記載方法の 適正化	21	大洲市	<p>激特事業並びに河川整備計画の変更原案において、肱川全川に対する治水安全度の向上が図られることは流域住民または河川を利用する者にとってはたいへんありがたく思っている。</p> <p>昨今の異常気象を鑑みると、完全なる治水対策は不可能であり、肱川だけ例外ということも言えず、財政状況からも厳しい現状があると思われる。</p> <p>そのためにも有効かつ効率的な治水対策を講じていくためには、いろいろな角度からの検証や有識者（県外・市外の学識経験者だけでなく流域に住む者を含む）からの意見を尊重しながら、進めていってほしい。そこで今回の見直し案について、下記のとおり意見を述べる。</p> <p>P102に基本方針や目標流量は記載されているが、非常に分かり難い。例えば、今回の整備計画の治水安全度の1/90の記載や棒グラフ等を活用したほうが分かりやすいと思う。（変更前との比較）</p>

令和元年9月27日に公表した「西予市野村地区における河川工事の内容を修正した変更原案(修正)」に対する意見とその対応

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	整備内容について	1	西予市	○引き堤に反対です。 堤防は掘削、築堤、引き堤がバランスが取れて川を守るものだと聞きます。その1つが（築堤）無くなって不安です。 引き堤にするなら、昨年の大雨とダムからの放流に対応する（できる）川幅にしてください。 築堤から引き堤に変更が決まったのは、今後変えれないそうなので、引き堤に変更することに安全を保障していただくようお願いします。
2			西予市	地域に限った治水の面では、河道対策は大きければ大きいほど良いと言えるが、昨年の人的被害の再発防止という観点では、施設の規模・構造から規定される、最大規模の河道対策を行うことが求められる。 ・特に野村大橋は、想定最大規模（野村ダム最大放流＋周辺の豪雨）をカバーする流下能力で架替・改修を行うべきである。 ・このため、野村大橋付近の河道のS字について、左岸の護岸機能を強化しつつ、右岸をさらにショートカットし、河道（幅）を確保することが望ましい。	
3			西予市	・引堤により用地を確保することで、将来さらに築堤や掘削を行い流下能力を向上できることを期して、河川整備計画において、野村ダムの全放流能力相当まで流下能力を上げる可能性について言及してほしい。	
4			西予市	また、河道掘削した残土で、周辺のかさ上げ・築堤を行うなど、少しでも流下能力の向上を図ること。	
5			西予市	・河道掘削は、地下水・井戸等への悪影響に配慮しつつ、より広い河道区間で実施すべきである。	

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	整備内容について	6	西予市	○野村地区の川幅ばかり広げても、荷刺、大和田地区には、すごく川の狭い所があり、水が行き詰まって、又、洪水を起こすのではないかと思うので、鹿野川ダムの水を常時、最低水位にしておくか、川の狭い所を広げる工事をしてほしい。
			7	西予市	○野村地区だけ直して下流の地区が安全かどうかもちんと説明して下さい。
			8	西予市	○引き堤と掘削で川の安全は守れるのでしょうか。築堤を希望するものとして反対意見と質問をします。変更前の築堤案、変更後の引き堤案、それぞれの工事費、流量など数字で示して下さい。
			9	西予市	・河川整備計画の変更原案及び修正案において、どちらも野村大橋の桁下高は現況と同じとするような模式図が書かれているが、上げる必要はないのか。
			10	西予市	低水路・高水敷等を設定する複断面とするのか、みお筋を確保するのか。
			11	西予市	・引堤への修正は、一部の住民の意見が反映されたものであり、河道設計の内容については、さらに協議・検討を尽くすべきである。 特に、引堤だけの方向性を偏重するのではなく、築堤や掘削とのあわせ技で最大の流下能力を早期に確保すべきである。 ・用地買収に時間を要することも想定し、早期の河道断面確保のため、変更原案当初の特殊堤及び掘削により、当面の対策を講じることも必要と思われる。 （当初、野村大橋のかさ上げが必要とされていたのなら、それが不要ない高さまで）

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-1

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	整備内容について	12	西予市	②今回の整備計画を実行に移した場合、引き堤により乙亥会館の辺りだけがポコンと突出した形になり、そこにはかなりの水が押し寄せる形になると思います。折角12億もかけ綺麗に改修された乙亥会館が、水の力で裏側からえぐられる事のない様に、して欲しいと思います。

◆頂いたご意見-2

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	事業範囲について	13	西予市	引堤を行うとする事を前提に 引堤により用地を買収する範囲は、流水の流下挙動に矛盾のない河道設計により決定されるべきである。 現況の河道・地形だけによるのではなく、あらかじめ土地の提供の可否、難易を把握したうえで、上下流の連続性が確保されるよう、用地買収及び河道設計として最適な範囲を設定されたい。 そのため災害、緊急を前提に拙速、強引な用地買収交渉、裁決、収用を進めるのではなく、地域の総合的合意をもって公平、透明性をもって用地確保することを求めます。
14			西予市	・引堤に伴い新たに河川用地となる範囲に所有する民有地について、生活再建等のため建築行為を行ったりすることは可能か。 若しくは、法にもとづく制限等は設定されるのか。また、住宅の補償など、用地補償で除却することになる物件での個人負担は、移転補償の対象になるのか。補償の対象にならないのであれば協力が得られず、裁決収用・代執行等が必要となり整備に時間を要するのではないか。	

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-3

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係整備全般	住民への説明について	15	西予市	○急な変更が進んでしまい、家を立ち退くことになった人、なりそうな人に対して、相談窓口を置いて対応してほしい。 ○行政の力で進めているイメージがあります。住民との話しをして下さい。
			16	西予市	○今回の築堤から引き堤に変更になったことで、地元の住民の反対は無かったと聞いていますが、そうではありません。住民にこの内容が伝わらないまま進んでいることはおかしいです。昨年のダムからの放流で過去最大の悪い結果が出たことは、2度と同じことが起こらないよう、川の計画は住民と話しながら進めてほしいです。過去最大の結果だったことを基本に考えて下さい。
			17	西予市	・変更原案に対する修正として10月4日に説明会が行われ、報道各社が「異論が出なかった」との報道を行ったが、地元住民には異論や疑問が残っている。住民の意見を聞き計画や改修設計・工事を検証する第三者委員会の設置を求める。
			18	西予市	今回、築堤から引堤へとあっさり計画が変更されたように思いますが、一番肝心な引堤にすることで、立ち退かなければならない人達へのアンケートなどは実施されているのでしょうか？引堤が地域住民の声のように言われてるけど、もし私が立ち退き対象エリアに住んでたら、絶対にイヤです。水害から一年以上が過ぎ、家も改修したり事業も再開してる人もいれば、これからの人もいる。みんな苦しい思いしたけど、それでもやっぱり「野村が好き」「この家が好き」と思って、もう一度がんばろうとしている人達を裏切るようなことはしないで下さい。説明会に参加する人も一部。さらにそこで意見が言われる人はごく一部。どうぞ本当の意味で被災者に寄り添って下さい。

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-4

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	維持管理について	19	西予市	○河道の掘削について 三島橋から荒瀬周辺部にも、かなりの土砂が流れ込んでいるので、ぜひ、掘削して下さい。
			20	西予市	・引堤により河床幅が広がったことにより、水深が浅くなって土砂がたい積しやすくなる。また、植生の繁茂も予想される。 土砂撤去等の管理頻度等に関する見通しを示すこと。

◆頂いたご意見-5

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	その他	21	西予市	・河道掘削の範囲変更は、引堤への変更に伴い下流河床を下げる必要があったためと思われるが、下流の流下能力を超えた放流が行われた場合等のハザードを示す必要がある。
			22	西予市	また、計画変更案の、築堤（特殊堤）の場合との水面追跡計算の比較結果を示して欲しい。 また、ダム放流による流量増やその増加量に対する水位変化についての計算結果を、操作規則に基づき300～1800m ³ /s以上の放流を行った場合を想定して、地点ごとに示して欲しい。
			23	西予市	○野村ダムの改良工事において、どれだけの効果があるのか、十分に調査、検討、協議の上、進めてほしい。
			24	西予市	・野村ダムクレストゲート放流能力は実態上いくらか。

2. 関係住民の意見

◆頂いたご意見-5

分類No.	テーマ	要旨	No.	市町名	意見の要約
	西予市野村地区の区間に関する河川工事の内容の修正（9月27日変更原案（修正））関係	その他	25	西予市	・引堤により周辺の土地の形質・利用条件が大きく変わるため、区画整理などの総合的なまちづくりを検討すべきである。
			26	西予市	<p>①昨年の豪雨は、基本的に、野村ダム上流（宇和方面）に、72時間で600mm以上の線状降水帯がやって来た事により、野村ダムの異常洪水時防災操作を招いた事による、あの惨事でした。</p> <p>しかし雨が何処に降るかは、誰にも想像が付きません。もし今度は、ダム下流の野村町にも線状降水帯がやって来た場合、今最も懸念されるのはため池の決壊だと思えます。</p> <p>今回の西日本豪雨でも、多数のため池決壊の被害が確認されています。現在、全国には農業用のため池が20万カ所あって、その6割が、今回被害が大きかった瀬戸内地域に集中しているそうです。野村町も、馬地部落の十文田池をはじめとして、太田部落や阿下地区などにも、多数のため池が点在しております。農水省では、ため池の中でも、地震や豪雨などで決壊し、住宅などに被害を与える危険性が大きい1万1000カ所について、対策を急ぐべき「防災重点ため池」として、現在、堤防の改修やハザードマップの整備を進めつつあると聞いております。</p> <p>振り返って、野村町の場合はどうでしょうか？今回の整備計画では、この観点が全くと言っていいほど抜け落ちていると思えます。もし野村のため池が一カ所でも決壊し、その水が川に押し寄せて来ると、水位の面で深刻な影響が出て来るものと、容易に考えられます。この観点も、頭の中に入れておいて欲しいと思えます。</p> <p>今後近い将来、もし野村町のため池が「防災重点ため池」に指定されたとしたら、整備計画の変更はアリですか？ナシですか？</p>